京城日報

二十四日夕刊 (朝夕刊を併せて八頁)

本紙定價 ▲一部金五錢 ▲一ケ月金七十五錢 ▲三ケ月前金貳圓 ▲六ケ月前金四圓
廣告料金 ▲七字詰一行金八十錢 ▲五號活字十五字詰一行壹圓 ▲四號活字二十字詰一行
發行兼編輯人 奥田直之
印刷人 小川三郎
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
電話番號 (編輯用)二四五番 二一四番 (營業用)二三六番 一六〇番
振替貯金口座京城二〇〇番

○英佛軍全線小康 獨擊破師團再編成

英佛軍全線に於ける目下の小康はリース河戰鬪の終結と言はんよりも寧ろ其中止を意味するものならん尚モントケメルの前方並にサンヴェナン及びビデヴェンシ山の全線にて英軍の爲めに擊破され慘憺たる損害を蒙りたる獨軍は其擊破された諸師團の再編成を行なはざる可らざる狀態となれりされど獨軍はラバッセ運河の北方なる突出地點に對し餘りに奧入りしたるを以て其襲擊續行を緩むる能はざる情勢と成れり(巴里特電)

○佛軍進擊頗る猛烈

佛軍の進擊猛烈を極め爲に敵軍はモリゼル方面の前進を中止せり(倫敦電報)

○敵新規攻擊準備

敵はアミアン及びアラスに對し新規攻擊の準備中なり(倫敦電報)

○後藤新外相曰く 先づ前方針を踏襲せん

後藤新任外相の談に曰く『予の今回就任せしは全く寺内首相及び本野外相の病氣の爲めにて本野子は宿痾到底其任にあるを許さざるを以て閑地に就き靜養する事となり外相は首相是を兼任する筈なりしも首相亦暫く靜養を要し若し劇務に當らんか病勢增進の虞れあり依つて予に於て是れを代理する事となりたり而して最初は內相外相を兼任する筈なりしも時局重大なるを以て專ら外務に膺る事となれり目下新任早々なるを以て政策其他に就きては語るを得ざるも先づ前方針を踏襲す可し』(東京特電)

▲霞ヶ關以外の人物 政友會幹事長 横田千之助

氏談ず後藤男が外相としての手腕經綸は能く此重大なる時局に處して遺憾無きを得るや或は又其方針政策は吾人の首肯する處となるや否やは總て今後の施措を俟つて決す可きも唯後藤男を外相として歡迎す可き一事あり卽ち從來の事例に見るに霞ヶ關出身の屬僚上りに非ざれば外相の地位を得る能はざる傾向あり而も今日にては全く一種の忌む可き閥を作りたる形無きに非ず是れが爲め我對外政策は動もすれば屬僚政治に傾き委靡不振の譏を免れざるのみならず列國に對等して馳驅雄飛する能はざる憾多し故に是等の惡想を拂拭し積弊を矯めんと欲せば其前提として外相を省外に廣く求むるを要す藤男の新任は此意味に於て大いに吾人の意を得たるものなり又後藤男の後任として水野次官の昇任を見たるは諸種の理由より當然の事といふべく氏が吏務に練熟堪能なるけ內相として最も適任たる可し唯望む處は內相の職を以て一行政長官たるに止まらしめず能く渾の氣魄を振ひて此の重大の時局に際し國務大臣として輔弼の大任を全くせん事是れ也(東京特電)

○外米輸入獎勵金交附規程

米價調節策として外米輸入獎勵金交附に關する規程は二十三日の閣議にて決定廿四日午後四時農商務省より發表さる(東京特電)

○大阪朝鮮貿易 近時著しき增加

近時大阪對朝鮮貿易益々旺盛を告げ三月中に於ける貿易は大阪より移出品價格三百二十八萬四千百八十二圓にして前月に比し七十萬八千七百八十一圓を增加し更に前年同月に比し四十二萬九千八百六十三圓を增加せり又移入品は四百十萬二百八十七圓にして前月に比し百十一萬八千九十三圓を增加し前年同月に比し二百五十七萬六千四百七十二圓の增加を示せり(大阪特電)

○朝鮮視察團一行

朝鮮視察團一行二十八名は二十九日來阪の豫定なり(大阪特電)

○滿洲見學團着期 陸軍

大學校長淨法寺中將及び學生六十名の滿洲見學團は五月廿日着連の豫定なり(大連特電)

○有賀理事視察

三井物產理事有賀長文氏は二十三日青島より來連各地視察の筈也(大連特電)

○總督へ御返電

廿三日東伏見宮殿下仁川御出港あらせらるゝに際し長谷川總督より御航海中御平安の電信を發したるとは既報の如くなるが右に對し同日午後一時十五分南鄕御附武官より總督にて『貴電の趣言上す出港に臨み閣下始め京城仁川に於る官民一同の熱誠なる歡待を謝し併せて健康を祈る旨御沙汰あり御傳へ申上ぐ』との返電ありたり

○戶別割負擔狀況

本年一月一日現在京城府の調査に依る學校組合費戶別割の負擔戶口を聞くに一萬七千五百七十八戶にして之を前年同期に對比する時は百二十一戶の減少を示せり更に大正三年以降の增減狀況を聞くに左の如し

年度	負擔戶口	前年增減
大正三年	一四、二〇八	—
同四年	一六、〇一九	增一、八一一
同五年	一六、九三三	增九一四
同六年	一七、六九九	增七六六
同七年	一七、五七八	減一二一

而して學校組合費戶別割一戶當り負擔額は本年度に於て十一圓十一錢一厘となり之を大正六年度に對比すれば一戶當り平均額二圓十三錢七厘の增加を示せるが更に之を大正三年度に對比すれば三十六錢五厘の增額を示せり其の增減狀況左の如し

年度	負擔額 圓	對前年增減 圓
大正三年	一〇、七四六	—
同四年	九、六七〇	減一、〇七六
同五年	九、二〇二	減〇、四六八
同六年	八、九七四	減〇、二二八
同七年	一一、一一一	增二、一三七

更に之を一人當平均負擔額として計算するに本年度に於ける一人當平均額二圓九十三錢四厘を算し、前年度に對比すれば五十六錢五厘の增加にして大正三年度分に比較すれば一人當十九錢八厘の增徵となれるが之れ卽ち諸物價騰貴と小學校新築等に基因せる譯なり大正三年以降の戶別割の增加せる平均一人當負擔額の增減狀況左の如し

年度	一人當負擔額 圓	對前年增減 圓
大正三年	二、七三六	—
同四年	二、六二二	減〇、一一四
同五年	二、四七六	減〇、一四六
同六年	二、三六九	減〇、一〇七
同七年	九、二三四	增〇、五六五

○總督府訓令 廿二日發布

大正四年朝鮮總督府訓令第九號臨時土地調査局增置職員定員中改正の件は二十五日の官報を以て發布卽日より施行のことゝ成れり

○道長官會議(第二日)

道長官會議第二日は政務總監統裁の下に二十四日午前九時より總督府第二會議室に於て開會前日より引續き諮問事項あり正午散會

○西洋立憲の由來と我國立憲の精神(八)

法學博士 上杉愼吉氏講演

甚だ卑近な例ではあるが、一軒の家に慈愛深いお父さんがあつて、其の子供の爲を思ひて、菓子は一日一回三つ以上食べては成らぬと云ふ憲法を拵へて、毎日三つ宛與へて居る。所が、其の隣家に惡逆無道のお父さんがあつて、子供に菓子を食はすのが惜しくて堪らない。そこでこれも菓子は一日一回三つ以上食べては成らぬと云ふ

▲憲法を作つた 茲に於て双方とも三つ宛菓子を與へる。併しながら後者は、子供を惡んで、之を縛上げる爲にさう云ふ規則を設け、前者は子供をして益々發達せしむる爲に、此の規定を設けたのである。恰も之と同じく、同じ憲法の條文でも、之を解釋運用するに當つては、其の精神に立脚り如何なる趣意に依つて其の條文出來たかと研究しなければならぬと云ふ事は、多辯を俟たずして明かである。然るに我が憲法制定せられて既に三十年を經過したが、我が立憲の精神が、歐羅巴の夫れとは全然

▲類を異にする 點に考へ及ばずして、之を解釋運用せんとする事の今猶止むに至らぬと云ふは、深く慨嘆すべきである。歐羅巴に於ては、其の建國の成立から考へて見ても、又其の後の歷史發展の跡を繹ねて見ても、君主の力を以てしては到底人民の幸福を增進せしめ難く、どうしても人民自らの力に依つて之を增進せなければならぬ國柄である事が會得されるのである。我國は之に反し、天皇の御力に依つて、人民の幸福は最も能く增進せらるゝ次第である。尤も何れの國に就いて言うて見ても、人民の幸福を增進すると云ふ事が卽ち政治の目的である……政治本來の目的は素よりそんな低い狹いものではないが、假りに政治家の言ふ所に隨へば、それが

▲政治の眼目で ある。此の點に於ては世界何れの國も同一であらねばならぬ。所が、歐羅巴に於ては、之は君主の力に依つて達する事が出來ないから、人民の力に俟たねばならぬ、此の故に亞米利加の大統領リンコルンは『民主とは人民の政治であり、人民に依つての政治であり、人民の爲の政治である』と言うた。之は有名な言葉であるが、人民の爲の政治と云ふ事は、歐羅巴も日本も同一であるのである。併しながら、我が國に於ては

▲國體の精華 として『政治は『天皇の政治』であり『天皇による政治』であると云ふ事に依つて『人民の爲の政治』と云ふ事が最も能く其の目的を達せらるゝのである。此の故に、人民の爲の政治と云ふ事は、國の成立から見ても、其の國の歷史發展の事實から考へても、人民自ら政治を行はんとしては到底其目的を達し得ないのである。

▲正誤 前號英國革命とあるは英國名譽革命と訂正す

○滯貨問題 (三)解決方策奈何

移入商側に在りては發送案內に接するも貨物の到着は豫期し難く割引料及延著に依る延利共に增入し同時に手形故障は急增し銀行と商人間に取引の圓滑を缺ぎ時間を空費せしむる事夥しく且つ從來は敏速に商機を捉へ

▲活氣横溢 せしもの漸次沈滯の境に陷るは明瞭なる事實なりとす而して前述の如く物價は常に先高なりしを以て右の如き種々の障碍あるに拘はらず商估の破綻を見る事少なきも之れに依つて小本家が日々窮境に陷りつゝあるは蔽ふべからざる事實なり之が救濟は刻下の急務と言はざるべからず次に滯貨より生ずる金利の損失額の大要を述べんに各驛に於ける滯貨噸數に對する價格は昨年末約二百三萬二千六百圓本年二月約二百十一萬五千四百圓に達す而も之が

▲解決方法 に至つては何れも多大の困難伴ひ居れるが今滯貨一掃に就き幾千の輸送力不足せるかを聞くに現在鮮鐵の使用しつゝある機關車は百八十輛、貨車千八百輛なるが內一割は修繕中に屬すると見て可なるべく實際運用されある機關車は百六十輛、貨車千六百輛見當なり而も機關車は目下所定の能率以上に使用され從つて故障多く少くとも三十輛を增加するの必要あるべく貨車も亦二百輛を增加する必要あるもの如し而して船舶に在りては船腹其のものゝ不足よりも寧ろ運賃の騰貴に基因するもの多く先づ

▲之を低下 せしむるを要す船腹其のものは二千噸級二隻を增配せば充分なりと稱せらる而して此等運輸力の不足を補充し同時に滯貨より生ずる損害を除く方法としては米豆の大取引者が進んで自己專用の汽船を往復せしめられん事を希望するものなり之れ卽ち船界の現狀と運賃の都合上容易に行はれ難き註文なるやも測り難しと雖も又右の如き大資本家が之を爲し能はざる理由も見出し難しさなくば朝鮮に汽船を廻航せしめつゝある會社、商會に交涉して運賃を汽車賃以下に引下げしむるを要す近時汽船の運賃一上一下して定まらざれども要するに一般の貨物は寧ろ汽車便を擇ぶことゝなり遂に現在の如き

▲滯貨を見 るに至れるものなり運賃は經濟界の變動に伴ひて變動し人力を以つて左右する能はざれども汽車賃以上に高率を示す如きは頗る變態の現象と言はざるべからず運賃の引下を得ざれば船腹の增加を圖るも其の効薄きものなり商工業家は政府の手を煩はすか又は自ら輿論を代表して相當の手段を講ずべきなり

○陳軍雲南軍擊破 張之懷、曹錕に軍費を送る

國務院側の消息に據れば段總理南下の結果各省督軍との意思疎通次第第三師に攻擊命令發せらるゝ筈なるが陳光遠氏の一師團は既に湖南に侵入し雲南軍を擊破し逐次南雄(廣東省內にあり江西省に近し一に湊江と稱す)に向ひつゝあり尚福建にては赤湖(福建省潮州府東部海岸に臨む)派遣の應援軍順次到著したる爲め兩三日中に攻勢に轉ずる筈なり因に二十一日張懷芝氏に五十萬元曹錕氏に三十萬元を軍費として送れり(北京特電)

○米軍陣地突破さる

獨軍はツウル西北方の米軍陣地を突破せり(倫敦電報)

○關釜連絡船變更 鐵道

院に於ては今般關釜連絡船中櫻丸を廢し博愛丸を就航せしむべき旨滿鐵京城管理局へ通知ありたるが定員總噸數等左の如し

▲定員 一等三十九人 二等六十一人 三等三百三十八人
▲總噸數 二千百三十二噸

○中學教員檢定試驗

師範學校、中學校、高等女學校教員檢定試驗は每年文部省に於て施行し居れるが其豫備試驗は朝鮮に於ては總督府にて施行さるべく本年の願書提出期限は五月十日迄にして試驗期日は八月中にして詳細は大正七年三月二十六日の總督府官報に揭載しあり

○駐紮軍慰問團著發 北

海道旭川の有志豫來源一郎氏外九名は遼陽駐紮の第七師團を慰問すべく二十三日朝來釜し當日は市內を視察し同夜鴨戶支店に一泊の上二十四日朝北行したり(釜山)

○永沼中將動靜

帝國在鄕軍人會理事永沼陸軍中將は二十五日午後一時十五分平壤著同六時より演舞場に於て軍事講話を爲すべし(平壤)

○久水課長張宴

久水外事課長夫妻は二十四日午後七時より在京外國領事夫妻廿餘名を京城ホテルに招待し晩餐會を開けり

○渡邊獸醫轉任

憲兵隊司令部一等獸醫渡邊中氏は四月十日附を以て士官學校教官に任せられたるを以て來る二十九日頃出發赴任すべく其後任は野砲兵第三十四聯隊一等獸醫山本常吉氏轉任二十五日頃着任の筈なり

人事

▲京城高等學校生徒百四十四名 遠足見學を兼ね二十四日朝下仁川歸京
▲岡田榮氏(代議士) 二十三日午後入京
▲佐藤修二氏(工學教授) 廿日附を以て工業專門學校に於ける鑛山科設備に關し視察の爲め東京、福岡に出張を命ぜらる

○新綠風薫る九州 眞に天下の奇勝

窓外の風景目迄に遑なし ▼九州視察團より第六信▲

熊本市官民有志の盛んな見送りを受けて熊本驛を發車した視察團一行は數日來の旅行疲れと南國の暖氣に睡魔に襲はるゝ事頻りであつたが八代驛以南球磨川流域は

○天下の奇勝 であると紹介さるゝや否先にと跳ね起きて車窓の眺めを恣にした、球磨川は日本三大急流の一と稱せらるゝ丈けに碧を溶かしたやうな淵が山峽を靜かに繞るかと見れば急に激湍岩を嚙んで奔下する、それが上流に進むに從て水激して次第々々に流れが急になり山岳も亦迫つて山の巓と巓が接吻せん許りにそゝり立つて居る

○汽車は急流 に臨んでは隧道に入り谷に出で行くかぎり山又山、單調な赭山、平凡を大江に慣れた眼には此の山峽の自然の變化が驚異であつたと見え何れも息を窒らせて刻々に變化して行く奇勝に見惚つてゐた、人吉驛からは球磨川の流域と別れて汽車は愈々三十三分の一の急傾斜を矢嶽に向つて進む途中ループ線で有名な大畑を過ぎると汽車は隧道を出ては

○隧道に入り 五十有餘の隧道を迎送して海拔千七百六十呎の矢嶽驛に達する此沿線一帶は京元線の三防高地に酷似した趣きのある山中で北九州の春は既に北より緣となり熊本は新綠の影暗くなつて居るにも拘らず山骨未だ枯れて朝鮮の山中と變りない車中汗ばむ程に蒸暑さを感じて居たが此高地に入つてからは襯衣一枚で窓外に出ると刺すやうな

○快よい冷氣 をさへ覺わた矢嶽驛を出ると肥後と日向の境で此からは汽車は再び三十三分の一と言ふ急傾斜を吉松に向つて矢のやうに下る

好評四版 新渡戶博士著 婦人に勸めて
△總クロース金文字入 △極彩色裝幀函入 △定價金壹圓參拾錢 △郵稅拾貳錢
處女も、花嫁も、主婦も、未亡人も、老婦も、母も、姑も、皆本書を讀まれよ、本書は婦人生涯の幸福を增進する寶典也
婦人畫報 婦人界 少女畫報 日本幼年
發行所 東京京橋區南傳馬町 振替四千九百番 東京社 賣捌全國書店

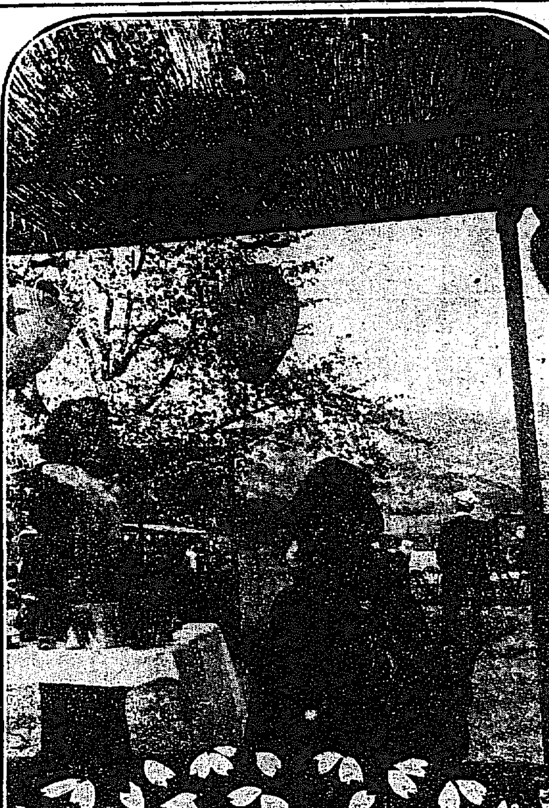
婦人界 (五月の卷)大好評
□附錄 ▽美人畫 風薫る (池田輝方筆)
□口繪 ◎伏見宮恭子女王殿下 ◎東京見物 ◎安部教授の令孃令息 ◎英國の婦人園藝家 ◎季節料理 ◎帚さハタキの使ひ方 ◎女學校參觀
◎贅澤と必要の分れ目 (山脇房子)
□吳服物の買ひ上手下手 (小林愛雄)
□人に依つて似合ふ髮形 (吉田オ市)
□女の內職として小賣店を開くに (吉村幸夫)
◎判斷のつきかねる婦人 (安部教授)
□婦人目まひの療法
□子供ひきつけの手當
□子供の家から出る
物價騰貴に對し私の取てる經濟法
□端午節句の費用
□手輕なお惣菜
□大掃除の仕方
主婦日常の暮し方
◎子供に小使を與へる可否
□言葉の使ひやう
□下着の裁ち方
□見合ひ寫眞はどうして撮るか
小說 不如歸
□子供に話して聞かせる話
□さつぱりした心地よ夜具
□養育院に收容された老婆の話
長篇小說 野菊
□母子問答 □家庭笑話 □大根の摘み
繪物語 人形の家
長篇講談 押上の鶴
定價

耐火煉瓦
▲蠟石煉瓦(三十番より三十四番)
▲シヤモット煉瓦(三十番より三十四番)
▲ダイナス煉瓦 ▲マグネシヤ煉瓦
▲耐火モルター其他耐火物各種
平壤府橋口町(電話壹貳五番) 合資會社 京谷商店

◎寄宿通學部 ◎自宅獨習部 ▲男女生徒募集▼ 卒業後就職世話紹介 會計士及銀行會社商店事務員養成 採用申込多數入學好期
簿記通信教授
◎創立廿八年 教授最新 規則書進呈
◎大阪天神橋筋西詰四丁目 簿記會計學館

時間表 [illegible]

十一月一日現行



◉客を待つ牛耳洞の花 ―廿四日撮影―

◉主砲の威力に御驚嘆

―軍艦御參觀の李王殿下

◇滿艦飾を施し皇禮砲を撃つて鄭重を極めた御待遇◇

總督府附武官　釜屋少將談（上）

二十三日東伏見宮殿下の仁川御出發を御見送り申し上げたる上歸任したる總督附武官釜屋少將は語つて曰く

世度宮殿下が御來鮮遊ばされたのは昌徳宮御訪問を兼ね併合後急速の進歩發達を遂げた朝鮮の實狀を親しく御視察になる爲めである

▽御旅館を　石造殿に定められたのは全く李王家の思召によるもの、宮殿下は最初朝鮮ホテルに御泊りになる御豫定で再三李王家の御厚意を御辭退遊ばされたが李王家から是非にと御懇請になつたので遂に其御厚意を請けられ石造殿を御旅館と定められたのである、李王殿下と御對面の御模樣は先日もお話した通りであるが多少間違つて居た所があるから重複を厭はず更にお話しやう

▽御對面の　場所は先日の話し通り宣政殿であるが最初宮殿下から御挨拶があつたとあるのは間違ひで先づ李王殿下から宮殿下東京御出發の際に於ける天皇皇后兩陛下の御健康の御模樣を尋ねられた上宮殿下の御健康に對し謝辭を述べられ更に石造殿は定めし萬事御不便の事ならんとの御挨拶があつた宮殿下からは之に對して

▽兩陛下には　至極御健勝に亙らせらるゝ旨の御返答があり次で李王殿下が態々驛頭迄御出迎へ相成つた事を謝せられ且つ石造殿の結構壯麗なるを賞せられた上夜中頗る安眠を得たる旨の御挨拶があつたのである李王殿下の仁川御成は御微行であるから普通ならば君ケ代の奏樂裡に士官以上が舷門迄御迎へ申上げるのが普通であるが這回の

▽御待遇は　非常に鄭重を極めたもので軍艦は滿艦飾を施し御着艦に際しては皇禮砲を發撃たれた之は准皇族の御資格で御迎へに相成つたので全く特殊の御禮遇と言はねばならぬ、午餐會の御模樣は大體新聞に出た通りであるが王殿下は是より先宮殿下の御誘引に依り艦長室から士官室へ成らせられ

▽左舷砲廓　に陳列してある水兵苦心の飾り物、海上生活の實際、魚形水雷、十五珊副砲の旋回等を御覽になつた上最上甲板に歩を移され三砲塔の一齊旋回俯仰及び一齊發火砲彈等を御覽になり夫々説明を御聽き取りになつたが三十六珊主砲の彈丸が三十九秒間に仁川から素砂驛まで屆くと云ふ説明を聽かれた時には今更の如く其威力に驚嘆の眼を睜られたやうである

▽清正公に殉死した鮮人金宦の墓

―を圍んで―老僧の話（上）―

九州視察團一行が熊本驛に下車すると共に眞先に伸み駛せたのは清正に最も縁故の深い本妙寺であつた檜の木や松の木が鬱蒼と蔽ひ繁さつた殿坂を登りつめて本殿に詣でた後一行が加藤清正に殉死した朝鮮人金宦の墓碑を圍んで老僧から次のやうな話を聞いた（早川生）

『神耶人耶男子中之男子仁人君子中之君子』とは朝鮮の禮曹司が太閤に致した書中清正を激賞した辭であるが實にや武勇絶倫『南無妙法蓮華經』の軍旗を翳して進む所鷄林八道臨むに敵者なく鬼將軍の名は兒童の泣くを止めしめた程の清正も涙も血もある大將として到る處で追慕愛敬せられた、頭は天正二十年七月二十三日、軍を

◆兀良哈の境會寧◆に進むるや府吏鞠景仁は日本の恩賞に與からんと臨海、順和の二王子を清正の手に渡さん事を申込んだ、清正は之を聞いて大に悦んで夜の未だ明けざるに會寧城に驅つけ自ら王子及び月郷雲客を鏡城に迎へて慇懃な待遇をした、後文祿二年石田一派が沈惟敬と牒し合せて詐僞百端遂ひに

◆二王子を放還す◆る事となるや二王子は去るに臨んで公の禮遇を謝し其慈悲佛の如く其厚きこと海の如し眞に日本中の好人也と後日若し少しく背負の意あらば人情に非ず天地鬼神共に之を知りと書を寄せたが清正が愈々歸國せんとするや王子の小侍にして梁甫鑑なるもの清正の徳に感じて其の跡を追つて日本に來り

◆清正の近侍とし◆て其の傍に侍つた彼は元朝廷に仕へた宦官で金銀出納の役を勤めて居た所から金宦と呼ばれ日本へ渡つても其名を以て通り名として居た、清正は金宦を愛用して祿二百石を與へ産業上の施設から朝鮮の工藝技術製造法などを移入する上に於ても彼を唯一の顧問として居たらしい當時金宦は

◆雲煙千里を隔て◆て遠く他國に仕へ乍ら一度も望郷の念に驅れた事がないと言つて居た慶長十六年五月下旬清正は大阪から熊本城に下著の船中熱を發して遂に薨じた之れを聞いた國内の民は泣き悲しみ金宦は哀悼數日に渡り、遂ひに佐々木土佐兼能と共に追腹切つて殉死した、一基の墓は苔蒸して誰れが其の誠忠に感じてか墓前には

◆線香の煙絶間無◆く朝鮮人金宦の名は清正の武勇と仁慈を永久に傳へて主從の情如何に美しきかを語つてゐる

◉發明博開催の久留米の一日

▽高山彦九郎の墓に展す ‖足袋工場の大規模に驚く‖

九州視察團一行は二十二日午後六時久留米著二十三日は早朝より勤王家高山彦九郎の墓に展じ直に發明品博覽會場を視察出品は主に久留米を中心として各地の發明品を網羅し數千點に上れり場内には小學校の有益なる參考資料の展覽會七層の大演舞館賣店等あり纖雨霏々たりしにも拘はらず入場者多かりき一覽後場内にて協贊會の招待會あり同午後一時より腕車を連ねて『國武』『つちや足袋』の二工場を視察せるが規模の大なるには驚きたり國武喜次郎氏は天秤棒一本より今日の成功を贏ち得既に五百萬圓を超ゆ『つちや足袋』の先代倉田運平氏は足袋商人より刻苦精勵して今日の信用と富とを得たる人にして兩氏共に義兄弟となり共に奮鬪努力して今日に及びたるものなり視察後午後五時解散したるが二十四日午前七時久留米發耶馬溪に向け出發すべし（久留米にて二十四日午後八時四十分視察團幹部發電）

◉砲工廠の火事

一工場を燒きしのみ

廿四日午前三時十分大阪砲兵工廠内藥莢工場内に出火あり一工場を燒きし而已にて幸ひ他に燃え移らざりしも場所柄とて非常の混雜を呈したり損害及び原因は目下取調中也（大阪特電）

◉大田の火事

二十三日午前二時大田驛機關庫事務室より失火直に鐵道從事員の召集を行ふと共に第一第二の消防隊警察署員共力して消防に努めたる爲め事務室一棟燒失したるも同三時半鎭火せり損害二千圓原因目下取調べ中（大田電話）

◉幼兒の燒死

京城昌信洞五百六十九番地洪相七二女入粉（四つ）は二十日午前十時頃家人の不在中温突の焚口にて著衣に火が燃え移り全身に大火傷を爲し東大門婦人病院に入院加療せしも二十一日朝遂に絶命せり

◉長谷川町の美擧

在職滿期せる長谷川町總代新井子梅代氏の在職中の功勞を謝する爲め町内協議の上去る廿二日同氏を滿香園に招き慰勞會を開き且つ三つ組銀盃一組と感謝狀を贈呈したりと

牛耳洞の櫻は廿八日が最も見頃也

京城日報讀者慰安觀櫻會（詳細は追つて發表）

大々的餘興等催物種々計畫中也

◉怨の白刄　娼妓の母女に

釜山の出來事

去廿一日の深更釜山富平町巡査派出所へ八寸餘の白鞘の短刀を手にして『私は今二名に傷を負はしましたから御處分を願ひます』と息せき切つて自首し出でた男あり吉田巡査は早速事情を聽取した上本署へ送致したが其經緯は斯樣である加害者は富平町一丁目四一ノ三に居住する鍛冶職大隈伊作（三二）と云ふ者である被害者の鶴岡しづ子（三二）は昨年十二月

▲前借五百圓で　[illegible]

▲兇行の前夜も　無心に來たので幾何を與へて歸した、すると伊作は又々翌二十一日の夕景ブラリとしづ方を訪れ、今晩は賓來館へ活動を見に行かうと招待券二枚を示したがしづは今晩は氣分が勝れぬのでお斷りすると云ふので伊作はスゴ〳〵と出て行つたが氣を紛らす爲伊作は一人で賓來館へ見物に行き一等席へ坐つて見ると

▲右手の二等席　にしづ母子と外に商人風の男と三人で樂しく見物して居るのを見た伊作の頭は掻き亂だされた、軈て活動が了ると伊作は寺町二丁目金物店の前に飛出て一方から八寸許りの短刀を買ひ求めてしづの宅へ向つた、しづ子母子が歸つて一室に寢話して居る時不意に飛び込んだ伊作はしづの寢間を目覺けて突き立んとしたが手元の狂ひ

▲血を見た伊作　は興奮して養母のはなに又一刀を浴びせかけたが悲鳴を洩れ聞いた近所近邊の者が一度に驅け付け中にも豫て伊作と知り合ひの松尾伊吉と云ふ者飛び込み漸く其の場を納め仲裁を試みたが母子は來る可き難を恐れて告訴すると云ふので伊作は其の足で自首し出でたが母子共に直ちに宇都宮病院に擔ぎ込み療養中であるが二人共生命には別條なきもしづ子は十六針の縫合を爲し目下昏睡狀態に陷つて居る一方伊作は嚴重に取調中である（釜山）

◉新白骨事件

記事掲載差止

釜山訴訟代理業者佐々木清綱氏の手に依りて發掘された白骨事件に對しては報道す可き新事實多々あるも去る二十二日檢事局より該事件に關する記事は一切調査の關係上一時新聞紙上掲載見合はす樣通告ありたるを以て一應擱筆し事件の闡明と共に報道する處あるべし（釜山支局）

◉櫻と桃の花の開城より

‖一筆申上候‖

◎櫻花。廿五六日を花の見頃と見れ人共に待ち設けし開城の櫻も二十一日の暖氣に三日見ぬ間の花の莟ツ盛り昨日今日は咲きものこらず散りも初めぬ花の風情に花下の逍遙、月前の小宴。そこも彼處も滿月臺公園は人を以て埋もれん許りの春の趣に御座候。◎桃は丘上より雲かとまがふ幾百株の櫻花を眺したる風情の美は埃にまみれし京城の花の風情と趣を異にして得も云はれぬ眺めに候。[illegible]（四月二十三日開城特信）

讀者文藝（一等に五十錢の賞品券を呈す）

△謎（寫眞とかけて）

一　掏摸と解く心は瞬間に撮る（一等）　義州一ノ一　久住松月

一　血醒の梅と解く心は先は一枚　龍山　多美郎

一　委見と解く心は後が現る（先著）

一　（水雷に差る）美人の乘つた舟と解く心は強い見合　京城　秋水

一　[illegible]　京城　梶山省一

灯もと頃

[illegible]

大阪期米

△二十四日後場　△當限寄付　△中限寄付　△先限寄付　二十六圓四十一錢

二十二圓二十三錢と二錢安に寄付四錢と撥ね二錢と辷り三節に至り大阪三節三十九錢の移りに二十錢と下選び後一二錢を採合ひ一錢と打止めたり

仁川米豆取引所

二十四日の六月限

◉連絡船上陸客　二十三日

午前釜山入港博愛丸一二等客 [illegible]

課題及募集規定

□募集規程　△用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事△一等には五十錢書籍券を呈す△賞品は一週間後△種類の異る毎に用紙を更ふる事

天氣　大 [illegible]

曇後小雨

商況

兵庫期米

二十四日前場　寄付　二十六圓五十七錢　二節　五十六錢

東京期米特電

二十四日前場　二十二圓六十一錢

大阪三品特電

大阪株式特電

三四五・〇〇 [illegible]

大阪期米特電

下關期米特電

◉糯は品薄漸騰

十錢方暴騰約一圓五

向底意强

◉北鮮澱粉持合

絶の姿で移入殆ど中

◉正米氣弱し

次第に軟調

下關相場

市場雜觀

▲昨後場は大阪前止三十六錢東京六十八錢兵庫五十錢後寄未著にて [illegible]

正米の不勢

買方の嫌氣を催ふ

弱原因は滿洲粟の輸入多

意外の巨石

不況で來延正米

南大門の廻穀

雜報

◉三品續安先四

十三圓三十錢

當限十圓五十錢

五月限十一圓

各限も總て三五圓

三銘十圓七十五錢

◉白砂糖漸減

到着は來月初旬

◉洋紙値上決定

無謀な市價は望み難し

釜山穀物（廿三日）

生魚市場

仁川正米

二十四日前場（小堅し）

二十一錢と同事寄

▲株と物價調節

北濱たより

▲戰局樂觀か

仁川米豆取引所　二十四日の六月限

白米標準値

二十六圓七十錢

小賣白米

現金賣　一等白米　二十七錢五厘　二等白米　二十七錢

叺繩莚　叺及穀物用莚各種　大田本町二丁目　箕浦商店　電話五二番

仁川米豆取引所仲買人　大五仲買店　店主　豬飼政太郎

仁川米豆取引所仲買人　園仲買店

仁川米豆取引所仲買人　仲買店　主任　西川平治郎

仁川海岸町　仲買店

◉哈爾賓で何れ 一と芝居

◆始まるに相違あるまじ 諸人間に於ける那立の暗闘◆

哈爾賓の露國人政界に三勢力あり 執行委員會、極東委員會、東支鐵道乃ち是れにして、目下は外見靜穩なるが如きも内面を觀るときは逆流の錯交するありて將來に於て孰れが果して最大の勢力を獲得すべきや俄かに

◆◆逆睹 し難きものあり 執行委員會なる名稱は既に久しき以前より有名なるが該結合の成立は昨年三月革命勃發後之に相呼應して起りしものにして、最初は辯護士アレクサンドロフ氏會長として縦横に手腕を振ひ、商工、軍事各階級の代表者を擁して一時は市廳をして有名無實ならしむるの實力を有したるも其後ア氏は極東委員會に乘り更わたるため副會長たりし社會革命黨員ウオルフオービッチ氏代りて會長となるに及び爾來勢力次第に失墜し、過般の過激派騷擾事件後更に能力を失ひて目下は市廳内に僅かに其の存在を認めらるゝのみ。極東委員會は成立後日猶淺きに拘はらず漸く强大なる實力を有するに至れり。同會は哥薩克を中心とし、總領事ポポフ氏及び前記のアレクサンドロフ氏其の中心となり哈爾賓驛前の露國商工俱樂部内に本部を置き過激派極東軍團成立後は之に對立して大に實力を貯へ北京露公使との間にも氣脈を通じて將來の活動注目に値すべきものあり、然るに東支鐵道廳自身は對外關係を主とするを以て鮮明なる旗幟を樹つるの自由を有せず、爲めに由來

◆◆灰色 なるは已むを得ざる所なるが此處に困難なるは該鐵道下級從業員間に於ける過激派思想（即ち勞働階級の權力主張）を基礎とせる急進社會主義思想）の傳播は侮る可からざるものあり此の潜勢力はセミヨノフ軍乃至極東軍團に對する反感となり、其の結果穩和派中に於ける急進論者たる前記執行委員會ウオルフオービッチ氏と接近するの已むを得ざるに至らしめ漸く極東委員會に對する反抗心を昂めつゝあり。上記諸勢力以外に隱然勢力あるもの或は將來勢力を加へんとするものは猶太人會、ポーランド人會、ウクライナ人會、クールランド人會等にして、クールランド人會は獨逸系の人士により支配され此等は凡て

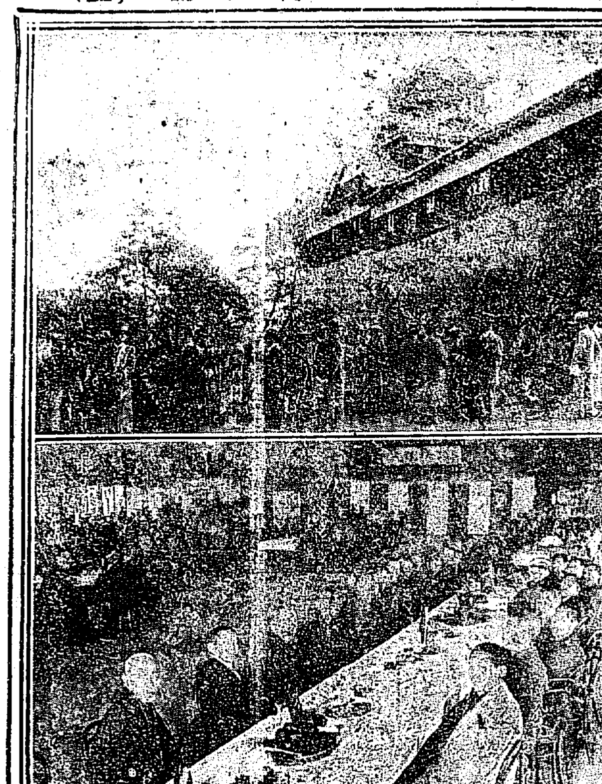
◆◆秘密 結社にして猶太人會は最も實力を有するものゝ如し。又別に鐵道從業員會ありて秘密結社に非ず、彼等の手に依りて鐵道の實務が運轉さるる以上其の實力が甚大なるは言を俟たず。上記の諸結社により哈爾賓の政治界、社會組織に關する諸階級の要求或は方針は代表され各々相當の手腕家を擁して盛んに

◆◆暗中 飛躍を企て、浦鹽其他の形勢險惡なるに際し、就中何れの結社が如何なる運動を開始するや目下如何なる潮流に乘りて宿題に屬す、最近に又ホルワット長官の北京行きあり、哈爾賓は現下極めて靜肅なるも、極東露西亞今日の事態は又た一と芝居起さずには濟むまじ（長春）

◉西伯利亞政府幹部

シベリア方面に一大變化を見るべし

一時盛んなりし西伯利亞獨立政府問題の噂も其後立消の如く見受けらるゝも事實は内々其歩を進め居りて近來又もや各方面の注意を喚起し着々運動の準備を整へ居れりとて喧傳されつゝあるが此の計畫にして成功せば西伯利亞方面に一大變化を見るべく又た是れが首腦部に就ても興味ある問題なるが其の勢力及び位置上よりしてもホルワット長官は當然樞要なる椅子に就くべしと觀測せらる（長春）



九州視察團畫報

（上）熊本城に於ける團員（下）熊本公會堂に於ける歡迎會

◉問題の問題

◆松花黑龍兩江と航行權 支那政府の命令が問題なり◆

今回松花黑龍兩江の航行權を獲得せんとせる某々數名の邦人は三三大會社を後援して哈爾賓に

匿名組合を設け

松花江航行事業を開始すべく十數艘の露國汽船を買收して目下著々準備中なるが

經濟上の一進展

僅々千數せば北滿に於る邦人の

として喜ぶべき事なるが今回支那政府の發せる既電拉蘇下流の命令實施が本事業と如何なる關係を生ず可きや大に問題なりといふ（春長）

◉露領輸出の生牛

國境新阿山方面より露領への生牛輸出は昨年來露貨留暴落其他の原因にて全然杜絶の狀態なりしが三月末に至り僅少ながら輸出を見るに至り四月に入りては五日迄に十三頭價格一千二十三圓の輸出あり今後愈增加の傾向なるが之が原因に就ては日露國交の風雲急なるに基く其筋の需要喚起に因るものゝ如しと而して輸出商人は浦鹽及び煙秋居住の鮮人なるも浦鹽には有力なる資本主あるが如く買出搬出の早急に努め居れり之が爲め阿山地方にては昨今一頭九十圓内外の高値を唱へ居れりと（清津）

◉ホルワット長官 晉京の 用向と眞相

政治或は軍事上の用件に非ず

東支鐵道長官ホルワット將軍の急遽再び北京へ赴きたるに付き其用向の秘密に附せられあると共に種々揣摩せられつゝあるもホ長官の胸裡に秘められたる或物に就ては他の妄りに忖度するを許さゞる處なるも道途傳ふるが如き政治或は軍事上の問題に非ざるものゝ如し然れども茲に尤も注目すべきは從來脣齒輔車の間柄なるべき筈の

意思疏通を缺き

郭督辦宗熙とホ長官との

居れる事にして嚮にホ長官の北京を訪ひ其の用務を畢へて哈爾賓に歸らんとするや郭督辦はホ氏と會見の遑もなく擱遮に北京に赴き今回も亦郭氏の歸任途中吉林に立寄れる間にホ長官北京に入りたるが如き兩者が北京への往來頻繁なるにつけ此の如く各々

圓滑ならざるを

相背馳せる行動を探るは其

推するに難からざると共に露支兩國間に於ける利害の差違甚しきものあるは疑ふべからざることにして今後兩者の關係如何に進展するかは刮目に値すべしと（長春）

◉兩將軍反目

◆奉天督軍と吉林督軍◆

今回東三省巡閱使に補せられんとしつゝある奉天督軍張作霖將軍は自己の立場上吉林督軍孟恩遠氏と親近し置くの有利なるを感じ其の懷柔策を樹て近來頻りに孟督軍の歡心を求め居れるが元來張孟兩督軍の間は

◇裏面に甚き暗流

張り居り事毎に相反目しつゝありしが過般の吉林獨立運動以來孟督軍の張督軍に對する惡感を一層深からしめし感あり然るに一時該運動の爲め悲境に陷りつゝありし孟督軍も先般來の哈爾賓派兵其他の爲め大に勢力を挽回し來りし事とて張督軍の懷柔策も功を奏せず美事跳付られ特に下せし二名の

◇密使も得る處無く

立歸りし爲め張督軍も大に焦慮し居れるが他に何等か方法を企て北の目的を遂せんと計畫中なり（春長）

◉南鮮の輕鐵

◆嶺南より湖南平野に◆

朝鮮輕便鐵道株式會社の經營に係る大邱浦項線、河陽浦項間の工事は着々進捗し居れるが右に就き某重役の談を聞くに左の如し

朝鮮平壤會社に於ては該工事竣成の一日も早からん事に努力し居り既に其の工程も殆ど豫定通りの進捗を見たるより此の分なれば

來る八月一日頃

全線の開通を見るべく

其の間或は橋梁用の大木材が思はしく手に入らぬ樣の事あるや計られざるも此事に就きては既に充分なる注意を拂ひ居れば多分無難に遞過し得べく此難關さへ切り拔ければ敷設用レールの如きも五月中に到着すべきものが本月二十八日に着する旨枝光製鐵所よりの通知もありたる位なれば完全に豫定の八月一日には開通を見るに至るべし尙會社が新に敷設すべき忠州線は鳥致院忠州間の測量を終り

六月頃までには

淸州陰城、陰城忠州鳥致院

公州間の測量を終るべく然る上平澤より安城長湖院を經て陰城に於て本線に合する線路の測量を終へ直ちに工事設計に着手し之が完成を俟て工事施行認可申請を爲し認可下あり次第敷地の買收及び工事に着手する筈にして設置する筈なるも日子を要するもなれば其の設置期日は未だ豫測し難し

◉羅南の軍營工事

羅南本年度の軍營工事は請負總額[illegible]萬圓にして松本組の請負に係るが其重なる工事は師團司令部、甲歩兵聯隊、機關銃隊兵舍、騎兵聯隊兵舍、野砲聯隊兵舍、師團長官舍以上各一棟宛外に宿舍附屬建築物其他雜工事にして師團司令部を除く外は全部本年中に竣工せしむる見込みなりと右に要する木材は約百六十五萬才の多きに達し大豆滿江材を使用すべく又た煉瓦六十萬枚を要するが之は請負者に於て軍用地を借受け直營の製造工場を設け製造すべしと（淸津）

◉輸城羅南間鐵道

鏡城線北部輸城羅南間の鐵道工事は愈大正七年度豫算の確定するや鐵道局より滿鐵京管局に對し工事着手申請を爲すべく命じ依つて京管局より其旨淸津出張所へ移牒し來りたるを以て既定の設計を變更し指令の如く更に設計等を作製し此程漸く工事著手の申請を爲す迄の運に至りたるが該申請に對する命令の下るは尙ほ餘日あるべしと（淸津）

◉五月人形と幟

◆高いが賣行は却て多い

近頃平壤でも段々節句其他の祝ひ事を陽曆で行ふ樣になつたので平壤は一年增しに陽曆の五月近くなると鯉幟が盛んに立てられる樣になつた、そこで相場を聞て見ると紙の鯉幟は本年例によつて原料の紙又は繪の具抔が騰貴した爲め昨年より二割高以上と見て差支ない（金巾の鯉の如きは三割高を唱へ）てゐるが夫れでも賣行は景氣の好い爲に頗る良好で却て昨年より四五割方も餘計に賣れるだらうと仲間内で豫想してゐる進物用として代は先づ八尺より二間物迄が良く捌けるが又た室内の飾り用として代價一錢位の豆鯉が素晴しく賣れるが之は鮮人抔に向くものであらう直段は紙の緋鯉三尺物十五錢、五尺物三十八錢、八尺物九十八錢、一間半一圓二十五錢、本二間二圓三十五錢、新二尺一間[illegible]七十五錢、眞鯉は若干宛か夫れより安い又金巾の鯉は二間半物で八九圓と云ふ見當だそうだ、それから又た（五月人形 進物用、自家用とも）一組六七十錢から二圓位までの物金太郎の人形は一圓位より一圓二三十錢乃至二圓まで武者は二圓より四圓内外の處、鎧は二圓五六十錢より三圓四五十錢位此の外旗幟、鎗その他の武器も相應に歡迎されてゐる（平壤）

◉問題の兼二浦で ストライキは

◇歇まつたが新らたに◇

ボイコットが

料理屋と雜貨商との間に起つた

三菱兼二浦製鐵所鐵山鑛夫松永洋行配下苦力二百餘名のストライキは兼二浦より急行せる高索警部志田枝兀兩巡査と共に松永洋行鐵山事務所に於て苦力頭及び重なる苦力數名並に松永幹次等に對し懇な說諭を加へたる結果雇主側に於て鑛夫一名に對し就業當時に遡り一日六十錢づゝの賃金を支拂ふこととし翌日より就業せり（兼二浦）

兼二浦料理店營業者は四月二十一日より東兼二浦松の湯隣に事務所を置き生魚、清酒、麥酒、雜貨類を一部の兼二浦商人又は平壤其他の都市より買入るゝ外一切兼二浦商人より買入れざることゝなし所謂不買同盟を企てたるが其結果雜貨商組合等は過日集所に會合して之れ又對應策を講究し料理店に對して不賣同盟をなすことを決議したりとは次から次へ能く問題の起る土地なり（兼二浦）

▲廣告▼

大募集

本校卒業生は校外生雖技師販賣係として月收百圓以上を達す如此は各種職業中の冠なり五月一日新學期開始 申込至急

先づ規則を見よ經驗と信望ある本校は短期に修業せしめ何人にも適所に成功せしむ尙ほ高等科に補欠募集す

東京々橋 南紺屋町 認可 自動車學校

◉衛生器具 ◉ポンプ

諸材料 專門製作 洗面器 浴器便器 輸出入 工事請負

水道

（カタログ申込次第進呈）

神戸元町六丁目 富永製作所 長電本二〇一四

一、製材機械競賣

天秤式大割竪鋸機 壹臺

一、芹川鐵工所製 重量約八噸

右競賣仕候間御希望ノ方ハ現品（目下鮮社工場ニテ使用中）御熟覽ノ上來ル四月三十日迄ニ御申込相成度同日成行放賣可仕候

支那安東縣江岸 安東挽材合資會社

魚釣具

宮内省御買上之榮 内外國大博覽會に於て名譽大賞金銀牌多數受領

擬餌鉤 釣針製造所 一名蚊針

テグス釣具一式 卸問屋

京都市八條通大宮西入 金森山田要助商店 振替大阪一二四九一番

質

黃金町長谷川町入口 電話二九一六番

田村質店

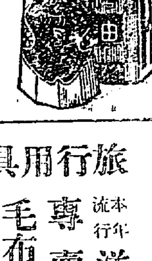
商品擔保便利取扱（六日休業）

▲朝鮮名產▼

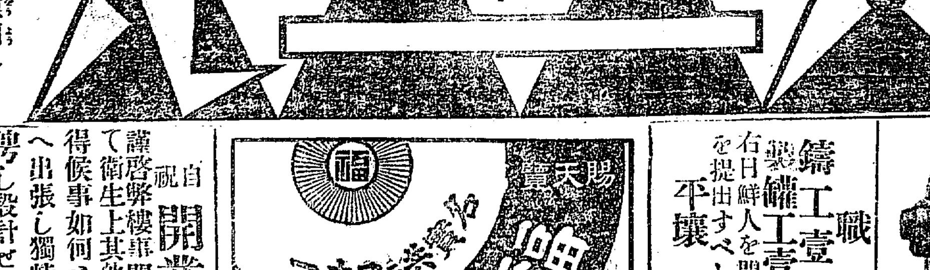
金剛飴 金剛山

京城本町 二十七 電話四七五

龜屋



毛髪の營養に富み日本に冠たる……世界的パール煉香油として内外の需要頗る旺盛なり



化粧化學を應用し絶對的黑色養毛に適し實に遺感なき……現代理想の

椿香油なり

關西大阪代理店 平尾レート

本舖東京 平尾パール

廣告

夜市 五月壹日 開店

出店者は場所柄非常の好人氣に付二十八日に『〆切り』候故申込者はテクレヌ樣一日も早く申込あれ

若草町夜市事務所

川北製 モートル

半馬力以上二百馬力マデ 在庫豐富

其他 電氣機械器具販賣

九州電氣軌道株式會社 九州水力電氣株式會社 專屬代理店

株式會社 川北電氣企業社（大阪本店資本金參百萬圓）

小倉出張所

九州小倉市鳥町三丁目電話六八

拾馬力以下ノモノハ各電氣會社ニテ試驗濟ノ上納品シ拾五馬力以上ノモノハ試驗ノ際技師立會シ納入ス

職工募集

鑄工壹百名 製罐工壹百名 募集

右日鮮人を問はず希望者は履歷書及戸籍抄本を提出すべし試驗の上採用す

平壤 株式會社 中村組鐵工所 長電話六〇三番

自祝 開業三十週年記念

謹啓弊樓儀開業以來三十年を迎へ樓屋舊式にて衛生上其他不備の點有之御客樣の御滿足が得候事如何と存じ今春早々樓主北京天津へ出張し獨特の技術を有する料理人を招聘し設計せしめ重資を惜まず洋式に改造裝飾致候就而は淨潔丁寧を旨とし宴會出前共自祝三十週年記念の爲め特別大勉強仕候間多少に拘ず御用命の程伏て奉願上候

京城鍾路通二丁目四六番地（水標橋通）

高等支那料理元祖 第一樓 公記 主人謹白

電話二六〇七番

旅行用具一切

本年流行 洋傘各種新荷着

專賣品 柳製鞄

毛布 二枚續（三圓五十錢以上）上物各種

東京製鞄各種

防水布マント各種

魔法瓶及中瓶取揃

製造販賣

京城本町一丁目

高木旅行用具店 電話一三四番

塚原卜傳

第五十五席　悟道軒圓玉口演

仲間は番頭に一生懸命に喋舌つて居る○『ねエそりやア怪しい事はないぜ、少しもねエや、だから松田大學様も塚原氏でござるか其れとは知らず失禮いたしたとか何んとかいつて詫まつて、就いては此曲者は他にある何れ召捕つて進ぜるが、就いては塚原先生主人近藤出羽守が貴所のお名前を聞いて是非お目に懸りたいと申してお待申して居る、幸ひの機會だから是非小田原までお出を願ひたいと旨く其所を欺かし小田原まで連れて來て、痺れ酒を飲まして石牢へ打込んで了つたスルと此塚原といふ人が陣屋を出[illegible]

六が居てやアお父さんが歸つて來た、幽靈だ亡者だといつて大變な騒ぎ、其れから段々仔細を話し合ひ、全く人違ひといふ事が解つたソコで穀屋十兵衛といふ人が飛んだ事で其塚原といふ方に迷惑を懸けた濟まないとスグに陣屋へ來て松田大學様に逢つて塚原様にお目に懸りたいと事情を話して頼むと松田様が塚原氏は小田原へ參つて陣屋には居らぬ、第一其方共の疎忽より生じた事以來嗜めといへたつ切りで一向取合はない、小田原へ來て近藤様にお目通りを願つてもどうして鼻も懸けない、塚原様をどうなすつたかと心配して[illegible]

穀屋の十兵衛といふ人が尋ねて來た、之れは鎌倉へ商賣用で行く途中、病人に出遇ひ、何うしたのだと聞くと湯治に來た途中、追剥に逢つて金と衣類を奪られ、何うにも仕方がないとの話し、其れは可哀相だ、私が金と衣類は上るから湯治をしてスッカリ身體を癒すが宜い、私も商用が濟んだら歸りに湯治をして一緒に歸つても宜いと金を遣り自分の著替への衣服を著せてやつて別れた、別れる時に其病人が誠に御親切の禮お申上げやうもない、私は清水港の酒屋宇兵衛と申すもの貴所のお名前を承はりたいといふから、乃公は駿府淺間下穀屋十兵衛だと書付に書いて渡して紙入もないといふから自分の紙入へ入れてやつて鎌倉へ行つた商用を濟まして箱根へ來て軒別に宇兵衛を訪ねたが知れない、漸々山中の宿へ來て倉賀屋といふ家へ入ると其處に悴の十吉と番頭の

日小田原をグルグル廻つて居る、番『其れで塚原とかいふ方はどうして石牢に入つたんで……』○『其れはまた其所に底あり蓋もある、固より石牢へ入るやうな罪も報いも何にもねエが實は佐竹の家老で佐竹彈正左京門といふ人が近藤出羽守様と懇意で妹が嫁に來て居るんだ、デ彈正から頼みがあつて、塚原といふ者が領地へ足を入れたら何どかして召捕つて牢へ入れて置いて呉れと頼んだ、承知をしたと待つて居る所へ不運にも小太郎様が飛込んだんだ、此方に後暗い事はねエから拙者は塚原勝義と本名を名乘つたものだから得たりかしこしと計略を用ゐてマンマと召捕つて了つた、ダカラ十兵衛が來ようが八兵衛が出ようが一向構はねエ、小太郎を召捕つた目當は別に

だそれで振向いても見やアしね、番『ヘエ恐ろしいねどうも、それで其塚原といふ人は常陸へ送られるんですかい』○『處が送られね、といふのは塚原といふ人の先生が上州名代の上泉伊勢守、日本一の劍術使ひの大先生、日本國中に此人のお弟子がいくら居るか知れねエ、加之一流一派の腕利揃ひ兄弟分を救けるといつて乘込んで來られちやアいかに佐竹彈正でも防ぎがつかねエ、それで近藤様も種々苦心をしてまア手付かず不牢へ打込んで握飯を入れて生して置くが、送るにも途中が危險と送られず、殺すにも此方で殺す譯には往かず酷く困つて、まア俺達が引張りを頼まれて番をしてゐるんだが何と氣の毒な話ぢやアねエか』

皮膚科專門 外科 扇田醫院 京城太平通二丁目 電話一二五八番

四月廿六日 九星 舊三月十六日 癸卯 本命七赤 西閉 赤口

▲七赤 手の届かぬ事有日新事に利合宜か[illegible]▲八白 [illegible]▲九紫 [illegible]▲一白 [illegible]▲二黑 [illegible]▲三碧 [illegible]▲四綠 [illegible]▲五黃 [illegible]▲六白 [illegible]

牛乳 御用 岡野牧場 京城東四軒町 電話一〇六九

縞セル 一反只の二圓卅錢
東京市日本橋區本石町一丁目呉服問屋堀谷商店にて今回三千有余反の新縞セル地を引取たるが品質優等なる上等品なるも都合上只の如き格安直段一反タツ乙號二圓三十錢甲號三圓三十錢別製品五圓三十錢と云ふ法外の安値にて賣始めたが一見十圓以上の本セルと何等擇ぶなき新柄セル地なれば忽ち湧くが如き好評にて日々多數に賣れ行きつゝあり且つ同店は地方部を設置し七週年記念として自然十八金色指輪を一反の注文毎に一個宛無代進呈をなすと云ふ因に希望者は實切にならぬ内男女別作を記しハガキにて申込めば色柄親切に見計らひ送料も賣豊で送るとの事

りん病 消渇で困る方 切手を
三錢送れ自宅で秘密に治す妙藥を無代でお敎へ致し升 名古屋市南かじや町 武藤龜吉

わきが にて今迄彼是と他の藥を用ひ効なき方 特効藥ファーザーを御用ひあれ 實價六十錢一圓 京城黄金町三丁目 山田文殊堂藥房 電話二九四九番

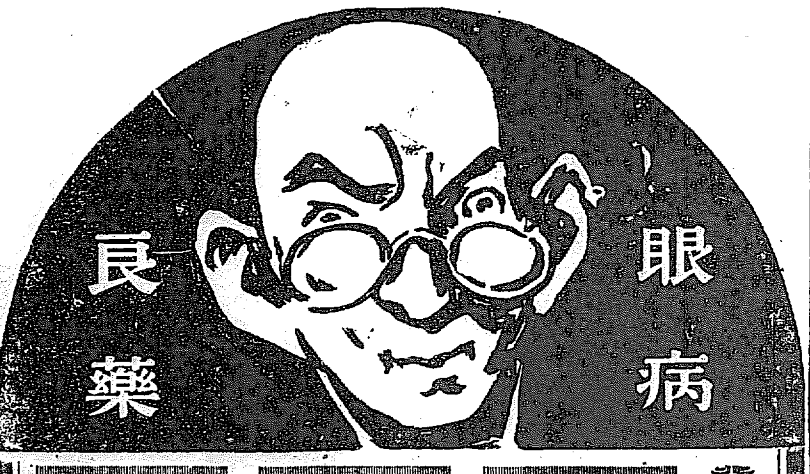
演藝案内

黃金館 電話二三六七 二三六八
[illegible]▲滑稽 夜中頂 ▲舊劇有馬音頭 ▲人情活劇『母愛』 ▲新派悲劇『殘る母娘』[illegible]

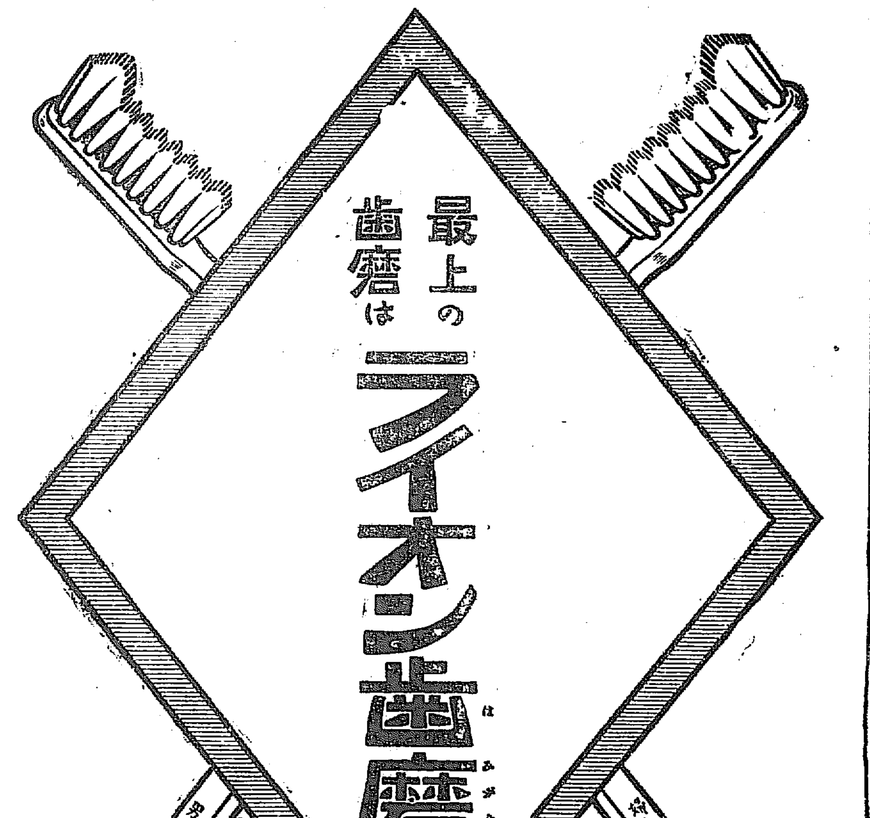
浪花館 明治町一丁目 電話二六〇番
△四月十七日より開演 ○京阪落語舍喜和宮一行 ▲落語(しん玉)▲滑稽掛合(社中)▲落語手踊(圓彌)▲ものまね(鈍夢)▲落語手踊(歌之助)▲落語(遊窓)▲少年落語音曲手踊(小しん鏡)▲中入當一派十八番の電氣應用所作事壽獅子▲落語音曲(花丸)▲落語手踊(木鶴)▲大切喜劇

有樂館 電話(番上)五一一番(番下)二〇五番
活動寫眞常設館 [illegible]
○新劇『國定忠次』全六卷 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三
本活動寫眞株式會社特約代理店
當ろ四月廿九日より大寫眞提供 ▲米國ミユチアル會社作 大滑稽チヤプリンの替玉 四千呎 ○新派悲劇『お澄と秋之助』全四卷 ○新派悲劇『露の心』全四卷 ○大活劇 義勇兵 八千呎 ○大活劇 仙石騷動 全四卷 [illegible]



登録商標 **直治水**
一瓶で偉効顯る!!
コレ迄の日藥で効なき患者は試よ!!
三大特長 ■最高學府推選處方に基く。■眼科高貴新藥を配伍す。■根本的に視力を强くす。
主効 ロトラホームロやにめロ響盲 ロはやりめロうみめロちめ ロかすみめロめくさロ目星
其他眼病諸症に偉効あり。
類似新式点眼器付十錢廿錢各藥店にあり。
本舖 大阪 東京 丹平商會藥房



淋病新藥 ツヨール
故下山藥學博士、慶松藥學博士證明▲田中醫學博士賞讃▲朝比奈藥學博士、岩川醫學博士檢定▲笹川醫學士、加藤獨醫學士、山田獨醫學士等の實驗の結果理想的内服治淋劑と確定せる。
◎到處藥舖にて販賣　製造元 東京市日本橋區川瀬石町 ツヨール商會　發賣元 大阪道修町三丁目 田邊五兵衛 振替大阪八六七号
▲本品は殺菌力を有し且絶對に胃腸を害せず ▲膀胱カタル尿道炎、睾丸炎、腎臟炎、消渇等其他一般急性、慢性淋病に偉効を奏す
廿粒入 六拾錢　五十粒入 九拾五錢　百粒入 壹圓八拾錢
▲說明書無料贈呈す

營業品目
肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉 星印配合肥料、細工用地骨 細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹸部 化粧用石鹸、工業用、家庭用石鹸、浮石鹸、粉末石鹸 牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達
朝鮮肥料製造所 京城東大門外紅蔘町 電話二六三五
朝日石鹸製造所 京城岡崎町一四番地 電話二五六四番 電話二九七〇番 振替口座京城七〇四番

京城電氣會社製特約販賣 **コールタール** 龍山漢江通り八 電話四九番 金物商 島田忠作商店

優等清酒

醸造元 福岡縣三井郡山川村 富安本店
發賣元 京城永樂町二丁目 富安京城支店 電話二三九番 振替口座二三九番
掛賣御斷り

京城旭町一丁目 內科小兒科 **小林醫院** 入院隨意(普通病室並に隔離病室) 醫學士 小林千壽 電話六九二番

人事百般周旋業 **萬年社** 京城府明治町貳丁目 電話長一八四四番

人體の最高靈藥たる **高麗人蔘**

○眞正高麗白蔘 壹箱五圓 ○同 同 三圓 ○同 木函、ボール函 一圓、二圓 ○同 一箱壹圓
開城朝鮮總督府專賣局所管地內產出の正純粹のものにして破格の廉價を以て提供せり
▲其他各製品及白蔘紙包斤賣大販賣
▲開城高麗蔘業社製品 全國一手販賣 京城太平通り一丁目 京城日報社代理部 電話長三二六、構內一八番 振替貯金口座京城三〇〇番

京城南山町三丁目(電氣會社横路入る)電話二九二〇番 **橋本齒科醫院** 日本齒科醫學士 橋本清次郎

京城 **朝鮮銀行**
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
電話(振替貯金口座 京城三三三番)
支店 東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、青島、長春、開原、四平街、旅順、遼陽、鐵嶺、吉林、哈爾賓、營口、傅家甸、龍井村、鄭家屯
出張所
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

京釜線(南行)	同(北行)	京釜連絡
湖南線(南行)	同(北行)	[illegible]
京義線(北行)	同(南行)	[illegible]
京仁線(仁川行)	同(京城行)	[illegible]
京元線(北行)	同(南行)	[illegible]

京城日報
第五版
二十五日朝刊
(朝夕刊を併せて八頁)
本紙定價 ▲一部金二錢五厘▲一ヶ月金五十五錢▲郵稅一ヶ月金十五錢▲前金三ヶ月分金一圓六十錢▲[illegible]
廣告料金 ▲五號活字一行一圓▲七號活字一行[illegible]
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通二丁目 京城日報社
電話番號 編輯 [illegible] 營業 [illegible] 振替貯金口座京城三〇〇番

櫻花號

櫻花頌

花と云ふ花の多かるに、花の中の花と貴ばるゝは櫻花なり、雪を凌ぐ梅花の氣韻、霜に誇る菊花の節、共に俗腸を清むるに足り、其他四季折々に咲き出づる花の八千種、皆是れ美の神の人間に寄與せるもの、香幽しきあり、色秀でたるあり、姿優れなるあり、とり／＼に愛たきものから櫻花に增して花てふ名に相應しきはあらじ。□

國の東西、時の古今は夫れ／＼の風尚あり、薔薇花の華麗なるを美の精と云ひ、牡丹の妖艶なるを富貴の花と見、水仙の清楚なるを花の仙と呼ぶを妨げず、されど櫻花は唯瑞島の大和の春を飾るべく匂ひ出づるなり、春や、朝霞暮靄、花を觀、花を思ひ、花を詠ずるに好し、時しも華やかに咲き、華やかに散る櫻花ぞ、まことに花の心なるべし。□

言靈の幸榮ふ我國にありては、花としいへば、古來吟詠に入らざるは無し、別きて櫻花に對する詠嘆は、鬼神をも泣かしむべきもの少からず、或は又、昔を今に咲く花に、百千歲の古事を問はゞ、櫻咲せし大宮人の情緒、さては勿來關に散りしきて東夷の感興を唆りたることとも、過ぎし世の春は長閑なりしとや答へん。□

畏き邊にて年毎に開かせらるゝ觀櫻の御會は萬國類なき御催しにて君民の雅懷を花に寄せ、上下樂みを倶にし給ふ大御心を仰ぐべく、友邦の臣僚が、この御宴に列るを一期の光榮とする亦理無しとせず、今年は世界多事の際とて、御會停止の御沙汰あり、帝都の春も最も寂しかりしと聞ゆ、さも有るべし。□

遠く爽九重の御階の櫻は　大君の御惠みの露に霑ひて、色香めでたく匂出でしとぞ、半島の春も亦櫻花に裝ひあり、大和民族の住む處、民の心に、植ゑられざる無きは、花心に、契合し、朝日に匂ふ山櫻は、大和心の徵象たればなり、即ち櫻花號を製りて花の德を頌す。

◎露國發電所設置計畫
河川の瀑布利用＝大電力供給

露國々民經濟大會はネグア其の他河川の瀑布を利用しウオルコウイー、ウークサ、スウリイ、ナロウイにて水力發電所を設置せんとす是れを以てすればペトログラードの各工場を運轉し其地方全部の燈力を供給するの動力を出すに足りウオルコウイー發電所のみにて六萬ボルトの動力を供給し得可しと(英所籍電報)

◎政府の米價調節策
保證金を交附して輸入米を徵收　公定價格を定めて之を拂下ぐ

帝國政府は外國より輸入さるゝ米穀を全部管理することに決したり而して右外米の買附は民間輸入業者をして是れに當らしめ政府は保證金を交附して輸入米を徵收し公定價格を以て是れを拂下げ米價を調節する事に決したり右保證金の交附は即ち關稅の撤廢に該當するものにして保證金の財源は臨時事件費なり(東京特電)

◎本野外相辭任顚末
區々の觀察は今後の成行に徵せん

某消息通談＝今回本野子爵の外相辭任を決心せるに就き巷間にては第一、西伯利出兵問題の經緯、第二支那問題の外交政策が事毎に齟齬せる爲なりとの事を傳ふるものあるも井は

▲事實の眞相を得たるものに非ず、本野子が歐洲戰亂の現狀に鑑み與國の目的を遂せん爲め出兵するを有利なりとし內閣に於ても外交調查會に於ても又元老に對しても力說頗る努めたるは事實にして是れに對して內閣元老、外交調查會とも反對せざるのみならず大體に於て承認し唯だ是れが實行に就て愼重に考慮すべきを必要とせり是れ本野子が人格あり意見あり又意見を行ふに當りて直往邁進の勇あるは何人と雖も認むる所なるも其の間種々事情の在るありて本野子の思ふ通りに行かざりし點もありしに相違なしされど既に

▲大體の方針に於て反對を表明せらるゝ以上是れを以て辭職の理由と爲すに足らず殊に支那問題に就て然り、同問題に就ては帝國政府の方針は飽迄も日支親善を主義とし不干涉を標榜するものにして是れ亦內閣、外交調查會相互の間何等齟齬扞格する處あるの無し彼の動もすれば北方援助に偏すとの說の如きは政府の方針の與る處に非ず且つ既に日支親善の目的を遂行するの施設に就ては經濟上外交上順次具體的に進捗しつゝあり是れが爲めに毫も外相の辭意を決する必要無きは多言を要せざるところなり然れ共

▲現下の時局は 西伯利問題と云ひ支那問題と云ひ其他對聯合國の施措悉く帝國の國運に最も重大なる意義を有し之れが遂行に就ては非常の努力を要す、然るに本野外相は議會央にして宿痾發し其終期に於ては全く休養を必要とするに至れり茲に於て時局の重大なるに鑑み辭職の決意を爲し首相に辭意を洩せり由來寺內首相と本野子との間は一朝一夕の關係に非ず寺內伯が總督として朝鮮に在り本野子大使として露國に在りし時外交上に於て常に意思の疏通を圖り意見を同くする處あり即ち寺內伯が內閣を組織するや直に本野子の入閣を見たるが如き次第にして爾來出兵問題

▲支那問題に關する本野子の意見に對し彼是の論議ありしも寺內伯は專ら其の間の調和に努めたる程にて若し本野子の病狀にして短時日に平癒せば首相は此際辭職を勸め交迭を希望せざりしならん而も本野子の病狀は是れを許さず主治醫仁木博士は少くも三箇月間の絕對靜養を要求したる爲め寺內首相は入澤佐藤博士等をして其診斷を求め其結果遂に辭職を認めざるを得ざるに至り時偶々山縣公、西園寺侯、松方侯等の上京に際し夫々協議を盡し

▲公侯又是れに 對して致方無かる可しとの事にて然らば後任を奈何にするやとの問題に就きて意見の交換を爲すに至りし次第なり、而して水野新內相に至りては內閣組織當時より今日在るを想像せる者ありし程にて謂はゞ從來事務上に於て次官兼大臣たりしもの今回は大臣兼次官と成りたる迄にて敢て不可思議の事に非ず中村鐵道院新總裁は從來事實上の總裁たりしものなり、而して今回外相病氣に伴ふ內閣の變動に就て內閣反對側に立つものは是れを以て內閣の壽命を促進せるかの如き想像を爲す者あり又內閣並に內閣に同情を有する者は是れを以て陣容を整へ從來の紛々たる

▲風說を一掃し 大に所信を斷行する氣運を造れるものと爲し此の二樣の觀察有るが何れが事實となりて現はるゝかは今後の成行に徵するの外なしされど政府としては議會に於て協贊を經たる計畫に準じ各般の政務遂行を期するの意氣あるは事實なるべく而して政府は來月初旬召集の地方官會議に於て其の方針を宣明し以て其嚮ふ所を詳にする事となれる可し(東京特電)

□天皇陛下演武場臨幸

天皇陛下には二十四日午後二時內山侍從武官長、德川侍從次長等供奉の上吹上御苑內在鄉軍人會演武場に成らせられ伏見元帥宮、閑院大將宮兩殿下外大島陸相、上原參謀總長以下陪觀の中に豫後備退役各兵科將校並に同相當官九十二名の擊劍、銃劍術、居合術等の　天覽あり同四時御機嫌麗しく還幸あらせられたり(東京特電)

◎混合列車の改善
旅客の激增に對する施設
京管運輸課長　安藤又三郎氏談

汽車乘客の激增は內地朝鮮を通せる現象であるが朝鮮の如く列車數が少ない所では殊に近時の如き激增には乘客も惱まさるゝ、現に釜山から京城まで終始立ちづくめでやつて來たと云ふ三等乘客もある位で予等は何とかして其の

▼改善を講じ たいと思つてゐるが、すべての施設は經費に多大の關係を有つのであるから根本的の對應策たる旅客急行列車の增發の如きは仲々急に行はれ難い問題である、さりとて此儘放置する事は到底許されないから現に應急策として(一)旅客列車に收容する乘客の數を能ふ限り增加せしむる施設を實行し(二)は混合列車の改善を講究してゐる、旅客列車收容人員の增加は從來緩急車に積んだ物を一切積まない事とし而してそこに得たる餘積に客車を增結し旅客增加用に充當してゐる、然しこれは餘り

▼多數の乘客 を乘車せしむると云ふ譯には行き兼ねる、尤も現旅客列車に付は二輛位の客車を聯結しても大田大邱間の勾配に補助機關車を用ふればよろしいが補助機關車を每日往復四列車に附する事はさらでだに機關車不足の際だから貨物の輸送上に支障を來すおそれを保し難いのである、第二の混合列車の改善は其の貨物の賤き列車發着時刻の改正も要するし、運輸上の施設として重要なものである、乃ち現に運轉して居る速力の緩い貨客混載の列車の若干部分に大改善を施し客車を增結し途中驛の停車時間を短縮し速力を早め乘心地をよくし京城釜山間の如き

▼現旅客列車 に近いやうなものと改めやうとするのであるさすれば今の旅客列車に滿載する乘客が幾割かを此の改善混合列車に分割する事が出來るので自然車內多少の餘裕を來すだらう、此方は計畫成り次第實行に取り掛る筈であるが其時期は未だ確定してゐない、之等の事をやつても昨年と本年との間に殖れた乘客は約三割强であるが來年になると又本年より三割も增加するとなれば又

▼復收容力の 不足を喞つ樣になるかも知れぬがその場合は又何等かの方法を執る考へである

◎樞密院會議

二十四日午前十時定例樞密院會議開き左記御諮詢案を附議可決し十一時半散會せり(東京特電)
一、關東都督府關係の學校長特別任用に關する件
一、朝鮮總督府醫院事務官特別任用に關する件
一、警部消防士特別任用令中改正の件

◎地方長官會期

全國地方長官會議は五月十三日より約二週間の豫定にて開催さる可し(東京特電)

◎生絲輸出額

京城恩賜授產場本年一月よりの生絲輸出高は合計二千五百斤にして目下の相場は百斤掛武州格にして四百三十圓を唱へつゝありと

◎慈惠院巡回診療

水原慈惠院にては來る五月一日より十月十三日迄京畿道內各郡の巡回診療を行ふべしと

◎連絡船二等制限

廿六日朝南大門發列車に接續すべき同夜釜山出帆關釜連絡船博愛丸には赤十字社總會參列の團體多數乘船に付き二等船室殆んど滿員となるべきに依り當日は二等連絡切符發賣を制限する由なれば內地行旅客は可成繰合せの上乘車するを便也と

人事

▲遼陽駐箚軍慰問團一行　二十四日夜入京直便へ
▲白井來城氏(辯護士)　二十四日朝入京同夜開城へ
▲永柳鶴太郎氏▲岸田三郎氏▲三輪四一氏▲上野總市氏(以上大阪實業家)　二十四日夜入京山本旅館へ

◇徂春心あらば
苔洞病客

◎人は花に迷せ、世は春に醉ふも、病ある身は、唯一睡の夢裡に、其春を惜むあるのみ、朝々の新聞は、予が無二の親友にして而して予が唯一の慰安者たりし也、眠れる者たりし也、病枕に呻吟する可四旬に近からんとして、綺羅多く押し挿け、階に芝ふて降るを得たり、友人、家人等に擁せられつゝ、病院を出れば、春月朧として、地上に曳く我影は細く、途中通過たる櫻花の一枚が、眉頭に觸れる家あり、花は火丸に映じて、雪より美なりしが、何人も敢て顧視する者なかりしも、予一人の目には、思はず停立凝視せしめぬ。予が今年の櫻花に見參せしは、實に此の夜を以て初なりきて。

◎予が家邊には、桃、梨、櫻、杏、李の花、多種なりし、亞りし人に扶けられて之を見る、風情何の無積ぞ、心なの春雨や、見る人も待たで、櫻李は既に狼藉な辭し、運動の殘英、未だ傍に地を飾るあるのみ。

◎遊覽唯櫻花に、將に衰醉を粧さんとするは、余を迎ふるにも似て、心いさ嬉し。嗚呼櫻花、桃花、故は此花を以て、古跡春風見此れと云へり、嗚呼なれのありてこそ。

◎强ひて花下を徘徊せば、力悩は微なる余が頭上に、胡蝶の如く片々として、詩心なく降り來るは、櫻か杏が、稍は既に若葉しつるに、あな心なの花や、心にくき春風や。

◎牛耳洞の櫻花さか、南山の花さか、規くは何處の夜櫻さか、友け來りて誘ふも、病ある余には、唯心なの書藥さのみ聞く。哀れ余は若葉に交る櫻花を見し、或り爛春の興を惹く徂春心あらば、暫時余が爲に、花明の信を止めよ。天公情あらば暫時雨を下すを許せ。

大田川水害復舊及び校開校式は二十一日午後一時より同校に於て擧行關本校長の挨拶、來賓總代の祝辭等ありたる後茶菓 …… 白石垣の築造を見るべし …… 部の竣工を見るべし
藤井分隊長甲斐警察署長は公州に於ける分隊長署長會議列席爲め ……
…… 市價暴騰を演じ就中金澤 …… 品は買進の中心となりて市價奔騰 …… し週末市場は反動的 …… 分の安値を ……

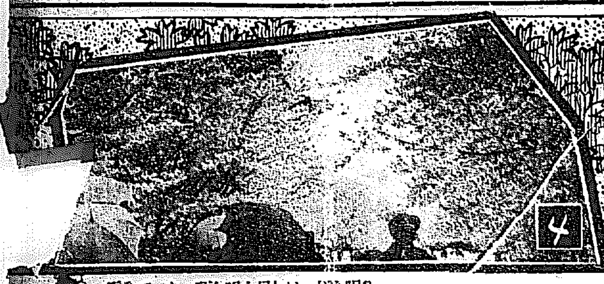
宮內省御用達
御愛用願上候
好い季節に
好い酒
花の都に名も
ふさはしき
灘生一本の
櫻正宗
京城南大門通　山邑京城支店　電話(長)八四一　九四番

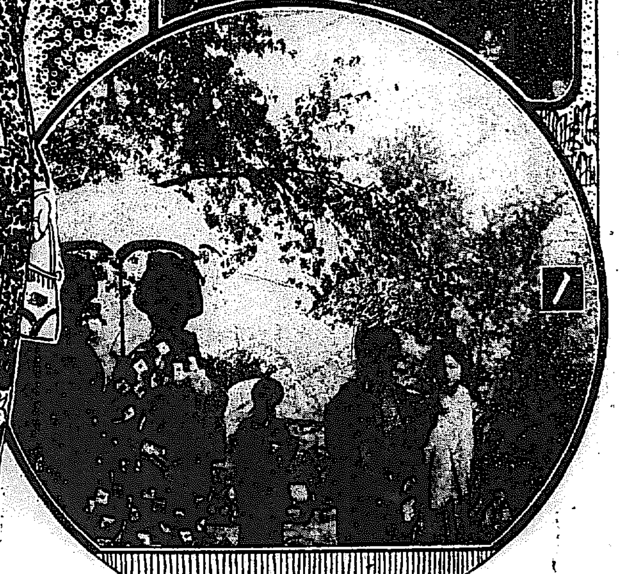
牛耳洞の櫻とサッポロビール

いよ／＼牛耳洞の櫻が咲き初めました先づ本月二十七八日頃が最も見頃で御座います
偖牛耳洞は每年花見時になりますとビール廣告の競爭地となりまして俗惡なるテントが所嫌はず建てられたり爛漫たる花の間に廣告の小旗を垂らしたり只々自家商品の廣告にのみ走つて他人の迷惑を顧る遑はありませんでした、そして恁んな調子で廣告の競爭が益々盛になり、益々俗惡化するやうでは折角一日の閑を得て花を賞し自然に親まんと遠路杖を曳かるゝ詩人騷客も之れが爲め興を殺がれ不愉快の思を致さるゝ事と存じまして弊社は大に反省する所あり、本年は一切此の種の廣告的競爭の渦中に投せざる事に致しました、其の代り牛耳洞風景の絕佳なる地を借り切り之れに瀟洒な芳簾張の茶店を設け遊覽人士の御休憩所に充て傍らサッポロビール其他の飲食物を販賣致さす事に致しました
尤もビールの如きは廣告を生命と致しております次第ですから目障りにならぬ程度でせめて茶店の廻り丈けは少し廣告を許して頂く事に致します、何卒弊社の微意を諒とせられ益々御贔屓あらん事を偏に御願申上ます

大正七年四月

サッポロビール釀造元
大日本麥酒株式會社
京城出張所





◉盛りの花の香に醉はん
近郊の櫻市内の櫻は粧を凝して行樂の士を待てり

春來ること遲き京城は春去ること又夙く、九十の春光も半ば過ぎれば最う新緑の蔭に初夏の風が薫る、流れに浮かぶ泡沫がパッと燃えてパッと消ゆる夕映えの色か、夫れにも增して慌だしい春ではあるが、その代り一度柔かな微風が佐保姫の温かい情を運んで來ると桃も櫻も連翹も殆んど一時に蕾を破つて市内も郊外も共に花に包まれ花に浮く、その花の姿に憧憬れて咲かぬ前から待ちに待つた行樂の春は今が盛り、雲かと紛がふ萬朶の櫻も並四五日が最も見頃とある、眞に短かい花の命、見る人もなく仇に散つては花も泣かう、婦は男の爲めに裝ふと云へど花も亦吾等の爲めに咲くのではあるまいか、春の歡樂は眞に此の花の散らぬ間に在る、好く遊ぶ者は又好く働くとやら、さらば吾等も散らぬ間に花を採ねて盛りの春に醉ふとしよう。

◈誇らかに咲く
昌慶苑のさくら
日に一萬の人を惹きつける　さても恐ろしき『花の力』よ

李王職でも粹を利せ花時ばかりは食はうと飲まうと御勝手次第

♣何と云つても

昌慶苑は京城第一の櫻の名所、例年にない陽氣に誘はれて一時にパッと咲き揃ふと待ち設けて居た滿都の士女は俄かに浮き立ち手を引き合つて昌慶苑へ、殊に三四日前の日曜は咲きも揃はず散りも始めぬ滿開の頂上とあつて一萬からの人を惹き付けたが、以來苑内は花見る人で毎日押し返すやうな雜沓、來る電車も往く電車も滿員又滿員は盛んなと云ふよりも寧ろ空恐しくなる位、熟々『花の力』の偉大さに驚かされる

三色菫、一本何百圓に値する高價な蘭などが『是見て頂戴……』と苑ら妍を競ふが如く咲き亂れて居るし、動物園では四百に餘る奇獸珍禽が待つて居る、弘化門から櫻の下蔭を縫うて動物園を一と廻り、碧空に映れる唐風の樓閣を仰ぎながら博物本館の古美術に千年の昔を想ひ、更に

♣植物園に歩を

移して百花の燦爛たるを眺めるとき、熟々昌慶苑の廣さ[illegible]知り、苑内の一木一草[illegible]も亦李朝五百年の榮華が偲ばれるやうな氣がする、要するは[illegible]

者が等しく考へる事ではあるが土地柄としてそれは一寸至難しい、櫻はこの並木丈けで無く上に行くと茶小屋の側にもあるが

小屋番の爺さん

が丹念に羊の糞を肥料にして育てるので木も特に大きく枝を伸して咲き誇つてある、孰れも十二三年生のもので樹が大きく數も可なり多いので見榮がする、惜しい事には一般に開放が出來ぬので折角の花も見る人が尠く花も憾み多く思ふであらう。

◈春の裝ひ
艶やかな乙女に―導かれ行くにも似たり花のトンネル
―春深き奬忠壇近くの櫻―

奬忠壇は市街の塵を避けて市民の命の洗濯場である春は連翹、櫻によく、夏は青葉の下を流れる清流[illegible]

◉山と水と花と
―揃つて詩味豊かな牛耳洞―

市中の櫻より遲れて咲く牛耳洞は二十八日の日曜頃またとない見頃[illegible]

「櫻、さくら」と手を拍いて歌ふ子供等も見ゆる夕方からは夜櫻見物の客も尠くない、電燈も所々に點ぜられて花は一層の美しさに燃ゑ立つ。

◈櫻の種類

櫻の種類は色々あるが古くから日本に傳はつてゐるものでは彼岸櫻、寒緋櫻、香櫻、月白櫻、樺櫻、下垂櫻、紅糸櫻、上瑞櫻、八重櫻、熊谷櫻、流黄櫻、常盤櫻、犬櫻等がある彼岸櫻は單瓣で小さく、下に垂れてゐるのが糸櫻と云はれてゐる、寒緋櫻は花は單瓣で紅色で此二種は開花が最も早い、八重櫻、開花が遲く熊谷櫻は八重でも早い八重櫻で一番遲いのが泰山府君と名づけられたものである、犬櫻にも二種あつて其一つは單なる山櫻で今一つは彼岸櫻の如うで其花の穗を抽でる事が上瑞櫻に似てゐる花瓣が毛の如うに細い、上瑞櫻は枝よりも長い穗が出て櫻桃の如うに白い花をつける花が散ると實がなつて大五味子に似てゐる之れを鹽漬けにすると頗る味がよい

◈花を訪れて近郊へ
今を盛りと咲き誇る市内の櫻
電車の便を巧みに利用してそこはかとなく花を觀て歩るくの記

近郊の櫻漸く爛漫たる今日此頃、塵つともなき春の光りの中に、花へ花へと、甘い歡樂を歩く人は甚だ尠なくない、京城市内からその近郊近在、電車の便を藉りて手輕に花見の出來るところへと志して見る、先づ黄金町線より病院線に乘りかへ

◇近き處は御苑の櫻◇

門を入ると例の動物園の前から植物園の邊りは些し盛りを過ぎては居るが、却つて爛熟したる姥櫻の風情艶めかしう見ゆるのも一興である、子供連れの夫婦などの見物が最も多くホロ〳〵散る花を浴びて緩やかな歩を運んでゐるのも御苑の花見に相應しい、更らに東大門から清涼里行きの電車に乘りかへれば、電車道に沿うて咲き亂れた櫻桃が雪のやうに美しく、また白雲搖曳するかとばかり清楚である、その中をそよ〳〵と吹き送る春風を衝いて行く電車の中は頗る愉快である

◇清涼里は木の芽◇

草の芽又た漸く大地の壓迫から脱れ出た許りの若草の匂ひが纏れあつて鼻を掠める、夫に點々として櫻や梨の花が咲いて居るこゝは御苑と異つて花見客の混雜はなく緑り滴たるばかりの森を背景に家族連れの一日の清遊地として見逃してはならぬ、また往十里線から電車を乘り捨てゝ有名な箭串橋を渡り、心もち花盛りの春の空を眺めつゝ蠶島模範場と東拓の出張所を見舞つた、果樹園の林檎はまだずつと遲れてゐるが梨はちらほらと咲き初め、櫻は滿山ではないが見頃である

◇温室には香り高い◇

西洋花が色も優しく咲いてゐる更に京城に戻つて葛月里と梨太院に行けばこゝは京城附近の桃の名所として知られたところ、滿開迄には大分間があるが、それでも最うすつかり蕾が膨らんで櫻が散れば直ぐ替り合つて、これから遊び場所として可成り人出も增すことだらうと思はれた、新龍山の終點臥山園は昨秋漢江の人道鐵橋の開通が生んだ櫻の名所で新龍山の終點で電車を捨て眞直に鐵橋を渡つて突き當りの小高い丘の上である、こゝの櫻はこの春千本の吉野櫻を移植して夜は滿山を彩る電燈飾が花から花へと續く。

◇遠くから眺めると◇

一山恍として花の山の夜の歡樂を想像させる珍趣向であるが花は少し盛りを過ぎちら〳〵と散つて行くのもある、山の上より見卸すと潺々として清流は脚下を流れ花と相待つて江岸の楊柳を隔てゝ遠く展開せる眺めは言語に盡せぬ快感を覺ゆる園内はサクラビールの紅提灯に樹間の茶店大小、高低、瓦葺杉皮屋根の設備が新しく氣持が好いがお茶子がどの客人にも尾行して酒食を勸めるは考へものだ

◇新龍山線に入ると◇

善隣商業學校の裏手より孝昌園に入り蝶影を追つゝ辿る山路は山好きの人には又となき閑寂なところで家族連れの摘草に一日の清遊には黄塵萬丈の都の花より趣きがある西大門より麻浦線に乘り一日の散策としては近き處では金華園の櫻もよく、温室には色とり〴〵の草花美はしく園内よりの眺望も好い、それから孔德里の松樹、麻浦の楊樹の鬱乎、漢江畔の摘草など今や春たけ閑である

◇花◇吹◇雪◇
▷雪かと紛ふ◁
それもよし月夜の眺め

仁川の櫻
◇こゝ二三日が盛りなるべし

[illegible]

ふ花園に任せて蝶々さ散り敷く風情、困でも認はしき事よ仁川市中に咲き競ふ花の魁けとして先づ其の媚姿を誇つたのは府廳の裏に當る料亭韓水の前、今や繽紛として

♣名殘の

笑みを地上に湛へ路邊に散り敷く落花の雪は芳芬に香はしく愛でつゝ行き交ふ人の袂に注ぐ西公園の櫻或は黄に映ゆる連翹扨ては純白の木蓮に到る迄一齊に咲き亂れ今を盛りと妍を誇り顔に濃艶滿洒収り〴〵の中にも靜心なく芝生に散りかゝる公園の春は明日をも待たぬ裝ひに今日一日の名殘ぞと

♣人待顔

[illegible]

♣雲かと

誇りも見紛ふ處[illegible]山氏別莊の櫻花草や雨の前には一堪りもせぬ程に吹雪亂れて石垣の根を染むる、花に開こねし月尾の櫻は扨て如何、白きは紛ふ方なき櫻の影山腹薄紅色に塗抹されたるは之れ一面の山躑躅紅白相映帶せる島が根の景色は深碧の波に照り映ねて云ふ術もなき長閑さである

♣山腹を

[illegible]

◈一目千本の加五里
家族連れの行樂な花見によい處

牛耳洞と共に賞すべきは牛耳洞と背中合せをしてゐる

◈櫻の名所

加五里である加五里の何よりも誇りとしてゐるのは箇人の所有地であるだけに、然とした栽植方と或る一定の面積に密集してゐるから頗る壯觀であることだ、それから最一つは櫻の種類の[illegible]

滿都爛漫たる
櫻花は今が
眞盛り

東亞煙草

補血強壯 純人參精腦

春は活動の序幕でず一年中の精力を養ひ疾病を驅逐するには是非此際

本社營養研究所長
兼附屬牛込病院長
正四位勳二等
醫學博士
天谷千松先生
實驗證明

を

三月一日 改正定價

十日分	金一圓
二十日分	金二圓
三十日分	金三圓
六十日分	金五圓二十錢
九十日分	金七圓

鮮内當分 一割減價

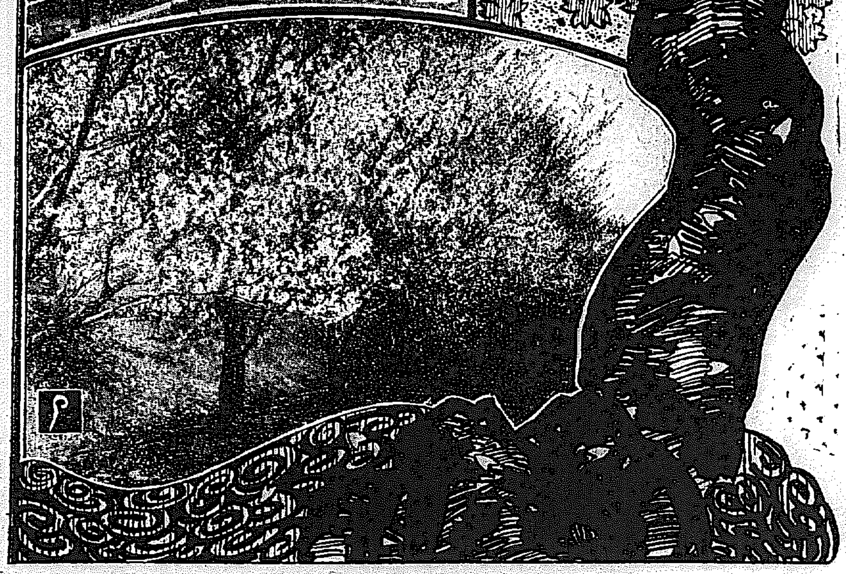
御愛用遊ばせ本劑の最も多く賣行くは確實に品質の優秀を語るものです

京城 振替京城三八一〇番 朝鮮製藥合資會社

四月二十一日より四月三十日まで
南大門 龍山より 倉洞行往復切符發賣
三等 四十五錢　二等 八十錢
五枚以上の御申込に對しては南大門龍山驛より直ちに配達す
四月二十八日(日曜日)に限り南大門倉洞間に
牛耳洞 加五里 觀櫻臨時列車運轉

ゆき			歸り		
南大門發	午前	八、五〇	倉洞發	午後	三、四五
龍山發	同	八、五九	龍山著	同	四、二九
倉洞著	同	九、三八	南大門著	同	四、四〇

臨時列車は雨天の場合は中止
南滿洲鐵道株式會社



[illegible]牛耳洞も好い加五里も無論結構だが態々出掛けるのも億劫だし往けかか暇に然かも安上りに眞の春色を賞でようとなら昌慶苑が一等である、昌慶苑へ昌慶苑へ……。

過ぎて三四日前のやうに花の隧道花の雲そう云つた壯觀は見られねが夫でも決して遲いと云ふ方では無論ない、漸くそよ吹く風にボツ〳〵と散り初めた位のもの、有る耶無き耶の風にホロ〳〵と溢れる淡紅の雪―陳い文句だが雲か霞と咲き匂ふ滿開の眺めよりも櫻の風情は寧ろこゝに在るので風流な人々は知つて歎んで居る、固より由緒ある王宮の中、艶めかしい三味線の音に『櫻かざして花の山……』など、浮かれ廻はることは嚴禁されて居るが然うでない限りは

♣飲まうと食はう　と勝手次第之は李王職でも特に粹を利せて大目に見て居る、綠の毛氈を敷き詰めたやうな柔かい芝生の上に愉快な顏を並べた一組、用意の重詰を開いたと思ふと突然サッと降り灑ぐ花吹雪！この花吹雪を頭から浴びながら『まあ綺麗ね……』『美事々々、ならば小鼓でも調べたい位だ』など、打ち興ずる優しい風情は昨今の昌慶苑では到る處に見られる圖である、連翹は最う遲いが櫻の外には躑躅が時を得顏に盛つて居る、淸々しい若綠の樹々の間々に燃ゑて居る躑躅のくれなゐは

♣戀を囁く處女　の唇とも見ねて春に懷かしい添景の一つである、其上植物園も今が盛り、誰でも知つて居るゼラニユームからチユーリツプ、虞美人草、勿忘草、

◆眞に正氣の煥發か

宮谷院長御自慢の龍山衛戍病院 後庭に咲く櫻

花は櫻木人は武士!!龍山の兵舍に起る喇叭の音、營庭の楊柳を震はせて春空に冴す號令の聲、鐵騎砂を蹴立てゝ響く戛々の音、銃劍長劍の閃き眼を射て勇ましき武士の姿と相映發して我が

大和心の精華の

美しさを見せて咲き出でた龍山衛戍病院後庭の櫻は眞に正氣の煥發であるかの樣に眺められる此所は練兵場と步兵第七十八聯隊との間にある岡の南面北漢山颪を避けて植ゑられてある、溝を夾んで兩側に咲き亂れた花は數町に續いて墨堤の縮圖とも眺められる綠の若芽いたいたしう萌ゑ出た芝生に鋪が

散りかゝる風情

誰が趣無しと云ふであらうぞ、之れは宮谷院長第一の御自慢の花とあつて手入れは行屆いたものであるが院長が只一つの憾みと思ふのは水の無い事である、中央の溝に水を流す事が出來たならとは見た

◆囀りが　のびやかに傳はつて來る駘蕩たる春の風は花より松に吹いて美しい人の袖を翻す

醍醐に少し早かつたこゝの櫻もこの五六日が見頃なるべく鐵道が

◆臨時車列を　出す二十八日の日曜頃は爛熟した盛りの花の、そよ吹く風にほろ〳〵と散る美しい情緒も見られることであらうか、花の下を流れる溪流の瑠璃盤の如く淸く澄みわたる水面に散りかゝる花の幾ひら、美しう

◆底を染める　のも捨て難い風情ではあるまいか、年々歲

◇よくつく櫻の木　接木をするには名花の枝を切る事

櫻は實を蒔いても生ね根分けするも挿木するもつくものであるが一番よい方法は名花の枝を切つて來て接木をする事である彼岸櫻、緋櫻、寒緋櫻等は八重櫻を臺にして接けはよい又山櫻を臺にすれば八重櫻の接木が出來る花屋が櫻の接木をするのを見ると圃に澤山臺木にする櫻を並べて望む枝を接いで置いて接目が少し出る位に土をかぶせ其の圃の四方には杭を立て、低い棚を拵へ雨覆を設け周圍には藁莚を以て圍を造つて置く木がついて生長するに從つて追々に土や圍を取除くと立派なものになる

◆運動會[illegible]

よい百花園の櫻は丁度見頃に開いた、細道の兩側にずらりと列を作つた花のトンネルを潜る心地は春の裝ひめでたい乙女に案内されて奧へ奧へと導かれる樣である樹は未稚いが數は千本近くもあるから可なりに見られる此所は山櫻も多く吉野櫻が散初めると咲きかける

◆八重櫻　は山櫻が盛りを過ぎると開くと云ふ順序、獎忠壇の春は連翹、躑躅に始まつて櫻に終る紅霞のひまに軟かな春の光浴て悠々獨酌低吟風流振つた男の鼻の頭を掠めて飛ぶ花びら一つそれに誘はれたか又三つ四つ鶯がサラ〳〵と雪の樣に散る、風が颯と渡る、鳥の

[illegible]むずかしい顏をして[illegible]ぐその下にある牛耳洞の櫻に市內のそれよりもずつと遲れてゐたがそれでも例年に較べると遙かに早く、二三日前から妍を競うて咲き出した

◆紺青の繪具　を一杯に塗つたやうな空に屹々として聳立つ北漢、道峰の峻峰の下、淙々の音忙しく流れて已まぬ谿川の水、無限の詩趣を語るところ櫻漫として咲き亂れる萬朶の櫻を見るのは愉快である、二十一日の日

寫眞說明

（1）牛耳洞花見、（2）倭城臺の夜櫻（3）鳳山遊園（4）植物園の櫻（5）加五里金泉、（6）牛耳洞の大觀（7）パコタ公園の櫻（8）南山の櫻（9）龍山衛戍病院の櫻

[illegible]の牛耳洞には特に大きな[illegible]つた、例年此の地一帶の風致を害するとが烈しかつた例の俗惡な廣告が全く除かれて

◆眞に櫻の里　に耻ぢないやうになつた、谿川の兩側に新に設らへられた葭簀張りの風雅な茶屋から『お茶召しませ』お休み下さい』と媚を含むで呼び交はす娘たちの聲も嫌味がなくてよい、牛耳洞のいゝところは遠く市街を離れて靜に遠慮も要らず心置きなく遊べるのにある、また

◆山と水と巖　と花とが相合致していかにも暢々とした仙境らしい趣きを添へてゐるのにある、兎に角牛耳洞の櫻は何んといつても趣が深い

◆櫻の王さ[illegible]ふべき一目千本の稱ある朝日櫻、または朝鮮には珍づらしい鬱黃櫻などもある、牛耳洞に較べて場所は狹いけれども小さく纏まつてゐる、牛耳洞と同じく川を挾んでゐるがこゝの水も非常に綺麗で牛耳洞のやうに澤山の人が來ないから家族連れの靜かな花見を試むるには最もいゝ所である、こゝの持主は

◆例年花時　になると京城からの遊覽客のために特に開放して自由に觀せる篤志家である、そして追付倉洞驛から行けば牛耳洞と殆んど同じ位、牛耳洞から加五里までは十丁足らずである、京城からは自動車で行けば牛耳洞よりは少し近い

◆お花見のお辨當

お料理いろ〳〵

春のお花見には成るべくお手輕なものを

♣卷壽司　椎茸、干瓢はゆでゝ、醬油汁、砂糖、醬油にて味をつけ、椎茸は鹹に干瓢は海苔の長さにそろへて切つておきます、玉子燒は玉子を溶いて砂糖鹽に醬油汁少々をいれてまぜ、玉子燒鍋に入れて三四分の厚さにやきます、之を細長く切り、青味には三ツ葉又は春菊を靑くゆでしぼつて醬油の中に暫く浸しておきます、御飯は鹽加減よりは、かために炊きまして、木鉢にうつし、酢の中に鹽少々をいれまぜ、全體にかけて（米一升に酢一合五勺酢小匙一杯）ねらない樣にまぜながら、あふりて冷します、海苔を輕くやいて海苔卷簾の上に横にのせ、前の御飯を平に二三分の厚さにならしのせ（海苔の兩側を五分位殘して御飯を置く）眞中に前の椎茸、かんぴよう、玉子燒、青味を細長くならべ、手前よりまき適宜の厚さに切ります

♣筍の木芽和　筍はよくゆでゝ短册形に切り、さつと下煮いたします、木の芽は水で洗つて葉のみをさり水氣を布巾で拭きとり擂鉢でよくすり鹽に味淋をすり砂糖、醬油汁をいれてすりまぜ、裏ごしにかけ鍋にいれて火にかけ杓子にてかきまぜ、火の充分通りたる後鉢なおろし、前にすりたる木の芽を入れてよくまぜ下煮した筍をいれてあへます

♣甘煮　ゑびの皮をむいて背腸をとりすて、水で洗つて布巾に包み水氣を切り、俎板の上へのせて庖丁でよくたゝきつぶして擂鉢に入れて鹽を少し加へ、ざつとすり其中へおろし芋（長芋又はつくねいも）を擂身の一割位まぜいれてまたすりまぜよき程ごの小圓子にいたしまして、沸騰湯の中へ入れてゆで後醬油汁、砂糖、醬油で甘からく煮ます、之を小さい串に三つ位つゝさしておきます。うどは皮をむいて長さ一寸位に切つて水の中へ暫くつけて灰汁をぬき、沸騰湯でゆでゝから鍋に砂糖、鹽、醬油汁をいれて甘からく煮上げます、くわゐは皮をむいて大きさにより二つか四つかに切つて淸水の中へ暫くつけてから沸騰湯の中へいれて柔かにゆで目笊にあけ水を切つて次に鍋に砂糖と醬油汁と醬油とを入れて甘からく煮附けて此の三つを盛り合せます

♣いかのおぼろ詰　新らしいいかの胴と頭とはなし胴の中をよく洗つてうす皮をはいで鹽ゆでにして水氣を切つて置き鯛かひらめの樣な白身の魚を肉だけをゆで布巾で水氣をしぼつてよく〳〵ほごし砂糖鹽にて味をつけ、弱い火にかけてまぜながら充分火が通りましたら食紅をうすくといて入れ色よくぽろ〳〵になるまで能く煎ります、之を前のいかの胴の中によくつめ四五分の厚さに輪切りにいたします

♣白魚の黃味酢かけ　白魚をさつと鹽ゆでにして[illegible]黃味酢を少しこき加減につくつて其上にかけます[illegible]

◆雪洞の灯花に映えて

春の夜を彩る倭城臺の夜櫻 お茶の水を思はせる眺め

昌慶苑が向島なら倭城臺はお茶の水である、水の流れ谿の趣き其谿から谿へ懸け渡した橋の形造が何んだか斯うお茶の水を思はせる、此意味から倭城臺は京城の

◆お茶の水　と云つても好からう此倭城臺の櫻は每年滿都の春を魁るのが常であるが盛りは割合に長く昨今でもまだ年増盛りの女のやうな艶なしい色香を持つて居る、尤も一番早く綻ぶ池端の櫻は最うスッカリ落花して所謂葉櫻になつて了ひ、今咲き誇つて居るのは黑橋附近から下へかけての櫻である、谿から丘へ

◆丘から谿　へムク〳〵と浮き出した花の雲唯だ美しいとのみ言つて置かう、昨今は每夜電燈がともされるので此谷間は非常な賑ひ、櫻の花の續く限り何處までも人の波がゾロ〳〵と續いて濛々と舞ひ上る砂塵と共に魅られたやうな嘆美の顏を混雜させて居る、此處も場所柄放歌亂舞に浮かれる人は見られぬが丘續の南山からは

◆折からの微風　に誘はれて春らしい唄も漂うて來る、夜櫻、夜櫻……夢のやうな倭城臺の夜櫻は風流な人々の何はおいても訪はねばならぬ春の景物であらう

◆奥田代議士 不起訴となる

曩に代議士奥田龜造氏（政友）が並木伊三郎氏なる者より共同事業に對する告訴を東京地方裁判所に提起されたる旨各新聞紙上にて報道されしが右は瀧川檢事の手にて審理中の處並木の告訴は理由無きのみならず却つて並木が刑事上の問題に關聯ある事判明し奥田氏は全く迷惑を蒙りたる事と爲り二十二日奥田氏は不起訴となれり是れに對し奥田氏は並木に對し誣告の告訴を爲さんとせしも知友の勸告もあり同氏の雅量に依り誣告の告訴を保留するに決せし由なるも右に依る奥田氏の迷惑は實に多大なり因に事件の裏面には政治上の問題も伏在せる模樣なり（東京特電）

野にも山にも
今や櫻が見頃です
サクラビールは
紳士も淑女も
今や擧て愛飲さるゝ

鳳山遊園
サクラビール

鷺梁津鳳山遊園に御出かけの節は御便宜を計り休憩所の設備を致しビール、壽司、辨當等準備を致させ京龍市內よりも低廉に御用御立寄の程願上候

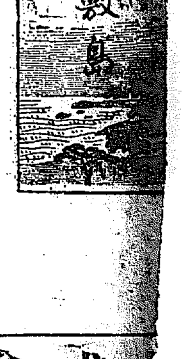
鈴木商店京城支店

花見と……旅行の

御用意は
『敷島』
新製品『金瓢』を
御忘れ遊ばすな

新製品

十本入八錢



式會社

花吹雪

大阪 中谷青霞

(十一)

兵馬も柳川も等しく背後を回顧ると、和田了俊は開け放した襖際に坊主頭を光らせて、ぬつと跨かつた。

『や、お身はお坊主の和田殿……。』と思はず二人はタヂ〳〵と身を退いて、睨と了俊の方を見る。

了俊は悠然として部屋の裡へ入ると、床を背後にどつかり上座に坐り、唐土を静かに元の座に返らせ、

『後は某が引受け申した、お身は構はずお茶の用意でもして呉やれ。』

と領いて唐土は臺子の前へ端然と坐る、主税之助は臥し乍ら始めて唐土の顔を熟々と見た。

唐土も何心なく回顧つて思はず顔を見合すと、さつと面を染めてつこり微笑むだ。

兵馬柳川の兩人は最早唐土が相手でない。

『お坊主の了俊殿に用はござらぬ、何のためお呼び止めやつた。』

『其處らあたりの腰抜大鑑を取巻いて居れば可いお坊主どのが、出しやばる幕ではござるまい。』

と弱味を見せじと病犬のやう喰つてかゝる。

『まづ二人とも下におゐやれ、腰が浮いて見苦しい、お身達二人を呼止めて逢はうと云うたは何の存でもない、ねならぬ香りにふと立寄つた廊下口、聞けば何やら声高に月岡とか主税とか口やかましう喇る容に、互に忍んで遁ふ場所柄潜かに語らうても事け済む、お身達の名を安う窶らせまいと思うて呼んだが、それが何とした。』

『安う窶らうと、商う窶らうと、相手け身の指圖は受けぬまで……相手は賢物買物の唐土、客の前へは出ぬと詐らせ、情夫客振つたうた、客嫉のふん反りやうが片腹痛い、客とあれば相身互、面出しもさせず我等を撫かせる三一武士の顔が、あまたさに爭がうたが、勝商いは我等が地堅、脇差の鉾に見覚ねのある月岡が定紋、主税之助と見て逢はうと云ふに、何故の止め立て、されぬ聞かう。』

と兵馬はどつかり坐つてジリ〳〵と膝を進める。

『何を利いた風の廢言、月岡であらうが主税であらうが、お身達に向改めらるゝ用はない、唐土の部屋に若人一人預けたはこの了俊むや、遊女が部屋とは云ひ乍らこの和田了俊が大切の預り人を入れて置く一室のうちへ、漫りに踏み込むさへあるに、見届けようなどとは嗚呼の沙汰、默つて世儘退がらうには見論しもしようが、さもなくば旗本建部が若殿とて、了俊用捨は申さぬぞ。』

『了俊殿、お身が預り人とあれば貢めはお身にあるべき筈、ならば何故病氣と詐らせ、我等二人に恥辱を與へしか、主税とも月岡とも云はぬ、こゝな三二殿になり變つて和田殿お身の返答聞かうまで。』

と柳川は詰め寄つた。

日報俳壇

春季雜詠

洋草に鮨晴れたる芹田かな 翠虹
聲正月の大地静かに陽の匂ひ 同
春雷に尚花咲ありぬ個木原 同
の虹銅鑼打つて市落れに飽 同
囀みて重き足駄や雪解風 同
大晴れて柳に光る朝日哉 待宵
流る暮風に濁る流れかな 同
何船呼ばはしため何時も辿 同
行山に敗走し小屋の下蔭にて 同
夕闇に下す荷船や河柳 同
芦の芽や何を烟らす渡し守 山紫志
開墾茲に三歳の荒地桃咲けり 同
白桃に接待の草鞋吊しあり 同
豆粕の荷を解く門や桃の花 同
新開の片側町や挿し柳 同
坂道に物食む牛等陽炎へる しくわ
連翹に蝶の縺るゝ風かな 同
突の黒き煙や春の月 同
温泉の街歩む素足や春の風 要村
戸張絹剝げ飛びけり春の風 同
緘縫や一瓣見ゆる丘の松 同

讀者の領分

る取締りを願ひたいものである(愛髮生)▲オ町二丁目の菓子屋の若い番頭さん、客の取扱ひなどもちつと叮嚀にしては何、少し生意気だよ(客の一人)▲京城鮮銀前の某は如何なりましたか、御存じの御方は本欄にて御教へ下さいませんか、大正四年六月頃より五年一月頃迄深月、萩花と號して文藝欄に時々投書して居りましたが之から、瀧花、又は吞氣坊と號して出しますから投書家諸君宜しく御願ひします(交河村瀧花)▲極めて嶮運に在る龍山熊光館にては近來々大ビラに有樂館又は黄金館臨時出張と稱して活動寫眞を興行し居るが其の辯士たるや何時も未熟な二三者を拉し來つて僞に出張の名目にお茶を濁し居るに過ぎぬ斯る不誠實で人を馬鹿にした仕方であつた然るに去廿一日廿二日又々例の有樂館金日臨時出張を觸出し可なり客を呼んだがドーしたかと見た所もないデモ辯士二名が西洋館から新派劇まで無茶苦茶にカレ噪ぎ立てた、僕は恐きながら是は一種の詐欺取財だと心得る(竪琴生)▲南大門外に於て貸家の周旋して下さる方なきやあらば本欄迄住所御知らせを乞ふ(某家生)

寫眞

寫眞出張撮影 寫眞銅版、凸鉛版
腐蝕凸版…… 京城日報社 寫眞製版部

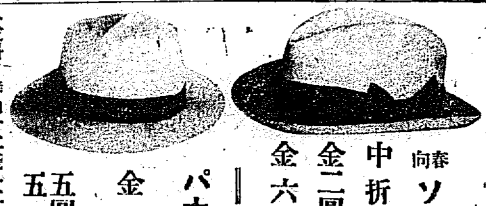
碁戰

十番碁第九局の(三) 三段 山平壽氏 二子 大久保雅彦氏

四一 チの大 イ
四二 リの古 ロ
四三 リの古 ハ
四四 チの古 ニ
四五 トの古 ホ
四六 トの古 ヘ
四七 ハの五 ト
四八 ニの六 チ
四九 チの三 リ
五〇 レの十 ヌ
五一 レの八 ル
五二 カの古 ヲ
五三 ヘの古 ワ
五四 トの古 カ
五五 タの古 ヨ
五六 タの十 タ
五七 ヨの十 レ
五八 ヨの土 ソ
五九 レの土 ツ

懸賞發表
先頃本舗で募集致しました懸賞問題は洵くが如き熱狂的歡迎を以て總計二十萬近くの應募者が有ました、其中九分通りまでは正解者でムいました、そこで嚴正な抽籤の結果で左記三名の方が一等當選の幸運を得られました
正解(しらが染は小さな代に限る)
新潟縣刈羽郡北條村小島 若月與市様
名古屋西區江川横町三文切酒井嘉一様
岡山縣吉備郡大井村 石尾紋千様
一等當選以下は賞品贈呈を以て發表に代へます。
東京市淺草區森前片町
しらが染 君が代本舖 山吉商店
振替東京一九三七二 電下一八八二

富の道しるべ 出版五十雄 村上師古 定價十五錢 郵稅二錢 京城本町 京城日報社代理部

流行帽子
春向 新形 ソフト 中折帽子 金二圓より 金六圓迄
パナマ帽子 金一圓より 五圓八十五錢迄

▲送料鮮內十二錢外二十錢 ▲鳥打帽其他最新形澤山取揃へ居り候 ◎御注文の際は柄向(縞とか無地など)色合御嗜好及價格御申越被下候はゞ必ず適當の品見計ひ御送付可申上候
京城太平通 京城日報代理部 電話構內十八番 振替京城三〇〇番

朝鮮總督府 一白紋油ル紙 右購買ス詳細ハ四月二十五日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ 教科書表紙甲菊判正二百斤外貳種
朝鮮總督府 一クロース約貳萬參千五百尺 右購買ス詳細ハ四月二十四日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府 一綿粗布一寒冷紗 貳百八拾四反 六百六反 右購買ス詳細ハ四月二十四日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

京日案內
普通 一回前金(一行)
番外 一回前金(五十錢)
▲申込は前日迄中の御返信を要す▲六行以上の申込の節は前金▲特に返信料不足金を要すの廣告は返信の御返金申さず▲御照會は必ず番號及び御名を御記入のこと

京仁線素砂驛附近 果樹園 約五丁歩 梨華果桃植付後五六年のもの格安にて讓渡 龍山鐵道構內 太田 電話一四九 11
廳人年齡十七八歲の男店員入用希望者は至急來談あれ 新龍山三角地前陸軍御菓子商行 早堂 電二一 13
病院讓渡す 在北部の要地に病院主の都合にて三百圓で讓る 功績國す家賃附屬品共 但し隨意なる保證人を要す 京城旭町 川西食料品店 15
舊恩給 月一歩二厘五毛迄利子 直接一引 井町一ノ一九八 博多屋本店 長二五 3
○ほねつぎ(うちみくじき) 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 611
債券高價買入 勸業第六十八回新債券賣出し、舊債券と御交換も可致候 大平通一ノ一三 朝鮮產業社 電話二七九三番 17

最新刊

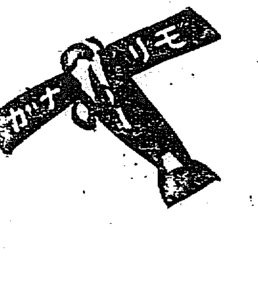
大庭柯公著 露西亞に遊びて 定價二圓
人生植物學 三好學 五五〇
法制先生江戶時代史論 黑木勇吉 二〇〇
文部省教員檢定試驗受驗指針 一三五
有爲生 四〇
新春 一六〇
獨立のすゝめ 一、一
怪紳士 一、一〇
諸能かげくも 一、二〇
黑い渦 五〇
式商業新約登書 八五
改訂新約聖書 七五
朝鮮總督府職員錄 六五
石上錄之助著 英々典新釋 九〇
最も簡便な 理想の珠算 定價各七十五錢
京城本町 大阪屋號書店 振替京城一五三

李王職御用 模範牛乳 ニッソ石鹼洗粉 太正堂肥塚 主要販賣 東亞牧場 京城蓬萊町四丁目 電話五二番

贊化病院 京城明治町一丁目 電話二四番 內科 小兒科 入院隨意 無料施療 毎日五名を限り 醫學博士 古城憲治

星印ソース
今やいづれの御家庭にても星印ソースを御愛用なる
本品は其品質に於て斯界の明星なり ソース界の明星なり 全國到る處の洋酒食料品雜貨店にて販賣す
發賣元 大阪市 祭原伊太郎

淋病 梅毒 喉 家傳 日本肥前佐世保市 杉森醫院 京城三一八 杉森玄益 醫士

天上天下
今し 本品御愛用者の健康に矜る歡樂の春!
森永ミルクキヤラメル


森永製菓株式會社

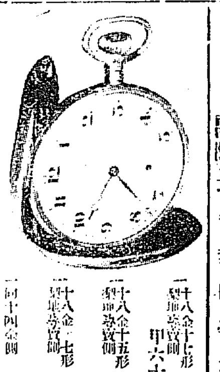
貨本金參百萬圓
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切に取扱申候
明治三十八年設立
株式會社 漢城銀行 京城府南大門通四丁目元番地
長男爵 李允用 專務取締役 韓相龍 支配人 張弘植
電話 一六四六番 二三九番 振替京城一八六五番
支店所在地 水原、平壤、大田、開城、南大門
出張所所在地 鍾路、東幕

內科 小兒科 呼吸器病 胃腸病 喘息 リユマチス
山田病院 京城本町二丁目四十五番地 電話二八八〇番 院主 山田萬作

比較は最良の撰擇法なり!! サクラ正宗 サクラ正宗 サクラ正宗

京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話四八九番 一四五四番 振替京城五七番

產科 婦人科 京城壽町 電話一二〇一番 二宮醫院 醫學士 二宮亮吉

賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城二〇〇番 京城日報社代理部

一十八金十七形 甲六十五圓 乙五十五圓 (十二サイズ)アメリカウオルサム會社特製機械入
一十八金十五形 金四十五圓 タバンス會社製
一十八金十七形 金四十五圓 コルジン會社製
一同十四金側 金三十八圓

內外科 小兒科 花柳病 京城本町二丁目(齋藤前) 電話二一六番 高井醫院 診察自午前九時至午後九時 日曜祭日正午迄 院長 正六位勳四等功五級 高井貞治 副院長 千葉醫學士 松崎正彥

りん病ばい毒 にせドラッグあり御注意

京城南大門外 滿鮮本部 ドラッグ商會
京城黃金町三丁目東通大阪ドラッグ商會
京城龍山 其各地ニ特約有販賣店

尼崎汽船出帆 仁川出帆
神代丸 群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行 四月廿四日後四時
秀吉丸 四月廿二日後四時
君代丸 四月廿九日後四時
大有丸 四月廿九日後四時
仁川海岸通 電話五十九番 尼崎汽船 杉回漕部

大阪商船株式會社 汽船出帆廣告
仁川出帆
神戶大阪行 ◎安都丸 四月廿八日 後五時出
◎油坂丸 群山、神戶、大阪行 四月廿八日 後九時出
△南部丸 四月 日 後五時出
元山出帆
◎安平丸 西湖津、新浦、城津行 四月廿八日 後十二時出
◎宮島丸 釜山、門司、宇品、神戶、大阪行 四月廿二日 後九時出
大連出帆
上海芝罘、基隆、打狗行 湖北丸 五月十三日 前六時出
基隆丸 五月十八日 後四時出
內地各港出帆主要航路
南米行 毎月一回 一年四回
北米行 毎月二回
濠洲行 毎月一回
南洋行 毎月一回
御注意 ◎外國航路ノ時間ハ五分以前ニ改メ▲無線電信ニ關スル御問合セハ本社ニ▲印ハ貨物ノミ
大阪商船株式會社仁川支店 電話二〇〇番五五番
京城切符發賣所 京城通り 電話二一番

共同汽船仁川出帆
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目 電話一七三番 仁川代理店 堀口商會
共同丸 四月廿三日午後入港 四月廿四日午後出帆 阿波、大連行
元山代理店 京城南大門 電話二七六〇八二 河村運送店

汽船 釜山出帆廣告
和歌浦丸 門司、神戶、大阪行 月 日後五時
立神丸 同 月 日後五時
元山、淸津、浦鹽行 和歌浦丸 月 日後十時
立神丸 月 日後四時
天眞丸 佐須奈、嚴原、壹岐、博多行 毎月二日、九日、十四日、廿一日、廿六日午後十時
第三蛟平丸 元山、西湖、新浦、城津、淸津行 四月 日後六時
第三蛟平丸 門司、宇品、神戶、大阪行 四月 日後六時
本社 釜山港 立町 大池回漕部

朝鮮郵船出帆
關門行 京畿丸 四月廿六日 釜山發
成鏡丸 四月廿九日 元山發
平安丸 五月三日 元山發
大阪行 五月五日 釜山發
穩城丸 四月廿六日 元山發
雄基行 摩耶山丸 四月廿五日 釜山發
成鏡丸 五月八日 元山發
浦汐行 山陽丸 四月廿三日 元山發
敦賀行 平壤丸 四月廿五日 淸津發
金剛山遊覽便 丸 月 日 元山發
鬱陵島行 丹德丸 四月廿四日 釜山發
濟州島行 昌平丸 四月廿九日 釜山發
釜山浦項線 江陵丸 毎日 釜山發
東廻 慶興丸 四月廿六日 木浦發
西廻 慶州丸 四月廿九日 木浦發
木浦麗水線 順天丸 四月廿六日 木浦發
多島海行 慶興丸 五月一日 木浦發
木浦行 晉州丸 四月廿七日 仁川發
海州行 江華丸 每日 仁川發
鎭南浦行 全州丸 五月一日 仁川發
青島行 江原丸 四月廿九日 仁川發
鎭南浦大連行 宗信丸 四月廿九日 鎭南浦發
本社 京城南大門通 電話一九五二
釜山支店 釜山港佐藤町
元山出張所 元山港通
仁川代理店 仁川港
木浦代理店 木浦
京城荷客取扱店 京城南大門驛前 松原運送店

米期限

下關期米 四日後場 各地小高き移り ……

大阪期米 二十四日 ……

內報

大田の大神宮春祭 大神宮春期大祭は十九日……

湖南吟社例會 二十日午後八時より茶町風骨庵にて湖南吟社例會を開き小弓引、談話……行く春の三題……

田學校組合事務所前より中學校新築地に架設中なりし大與橋は……竣成……

機業界益好調 ……出張中の……二十一日歸任せり……示せる品に依り十六圓三十錢てより前古未曾有の新高値を見せり斯の如く市價の奔騰せる結果は羽二重機業界は益々好調……一時……羽二重なきの比にあらず今や……機業家の利益は……能力増大し現に三年中福井石川兩縣の羽二重生產總高は二十四萬四千四百五十疋……